

もち米をめぐる状況

令和6年4月

公益社団法人 米穀安定供給確保支援機構(もち米事業部)

目 次

(生産・検査)

1	もち米の生産	1
2	もち米の品種	2
3	もち米の検査(数量・等級)	3
4	もち米の検査(品種銘柄・産地)	4

(集荷・流通)

5	主食用もち米の集荷	5
6	主食用もち米の契約栽培	6
7	主食用もち米の販売・購入	7
8	加工用もち米の生産・流通等	8

(加工原材料用)

9	加工原材料用米穀の使用況	9
10	米穀粉の生産	10
11	加工米飯の生産	11
12	米菓の生産	12
13	包装もちの生産	13

(消費)

14	もちの消費(年間購入量)	14
15	もちの消費(月別、地域別購入量)	15
16	せんべいの支出金額	16

(価格)

17	令和5年産主食用もち米概算金(生産者価格)	17
18	もち米の契約栽培基準価格等	18
19	もち米の市場取引価格	19
20	もち米の小売価格	20

(輸入)

21	もち米の輸入・販売	21
22	米菓・米粉調製品	22

(輸出)

23	コメ・コメ加工品の輸出	23
24	パックご飯・米菓等の輸出	24

(参考)

	令和3米穀年度もち米等の生産・輸入・消費のイメージ	25
--	---------------------------	----

1 もち米の生産

○ 近年のもち米生産量は、水稻生産量が約720万トンに減少している中で、その約4%の約30万トンで推移。
また、主食用うるち米価格が低迷した平成26年産以降一時生産量が増加する等、もち米の作付けは変動し易い。

○ 水稻作付に占めるもち米の作付は、各道府県で総じて約1~2%であるが、佐賀(20%)北海道(9%)、熊本(8%)、秋田(6%)、新潟(5%)では比較的高い。

水稻もち米の生産量

(単位：万トン)

年産	水稻生産量		もち米比率②/①	(参考) 主食用全銘柄年産平均相対価格
	①	うちもち米②		
平成26	844	30	3.5	11,967
27	799	33	4.1	13,175
28	804	35	4.4	14,307
29	782	33	4.2	15,595
30	778	29	3.7	15,688
令和元	776	28	3.7	15,716
2	776	29	3.8	14,529
3	756	31	4.1	12,804
4	727	未公表	7.3	13,844
5	717	未公表	7.3	15,283

資料) 農林水産省「米をめぐる参考資料」

注) 加工用米等は、新規需要米(除く飼料用米。)を含み、令和5年産は、加工用米取組計画認定状況(令和5年9月15日現在)

(参考) 米の用途別・年産別面積の推移

(単位：万ha)

用途	主食用米			新規需要開発米							
	生産量(万トン)	備蓄米	加工用米	飼料用	WCS(稲発酵粗飼料)	米粉用	新市場開拓用(輸出用米等)	酒造用	その他		
平成26	147.4	788	4.5	4.9	7.1	3.4	3.1	0.3	0.1	0.1	0.1
27	140.6	744	4.5	4.7	12.5	8.0	3.8	0.4	0.2	0.1	0.0
28	138.1	750	4.0	5.1	13.9	9.1	4.1	0.3	0.1	0.1	0.0
29	137.0	731	3.5	5.2	14.3	9.2	4.3	0.5	0.1	0.1	0.0
30	138.6	733	2.2	5.1	13.1	8.0	4.3	0.5	0.4	-	0.0
令和元	137.9	726	3.3	4.7	12.4	7.2	4.2	0.5	0.4	-	0.0
2	136.6	723	3.7	4.5	12.6	7.1	4.3	0.6	0.6	-	0.0
3	130.3	701	3.6	4.8	17.5	11.6	4.4	0.8	0.7	-	0.0
4	125.1	670	3.6	5.0	20.6	14.2	4.8	0.8	0.7	-	0.0
5	124.2	661	3.5	4.9	20.4	13.4	5.3	0.8	0.9	-	0.0

資料) 農林水産省「米をめぐる参考資料」

注1) 主食用米：統計部公表値。備蓄米：地域農業再生協議会が把握した面積。加工用米及び新規需要米：取組計画認定面積。

2) 新規需要米の「酒造用」については、「需要に応じた生産・販売の推進に関する要領」に基づき生産量目標の枠外で生産された玄米であり、平成30年産以降は取りまとめていない。

3) ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

令和4年産水稻の道府県別作付割合

(単位：%)

道府県	うるち米(醸造用米、もち米を除く)	醸造用米	もち米
北海道	90.8	0.4	8.7
青森	98.4	0.6	1.0
岩手	95.8	0.2	4.0
宮城	97.4	0.2	2.4
秋田	93.2	0.8	6.0
山形	96.8	0.7	2.5
福島	97.4	0.6	2.0
茨城	97.1	0.1	2.7
栃木	98.2	0.7	1.1
群馬	98.2	0.1	1.7
埼玉	99.4	0.1	0.4
千葉	95.9	0.1	4.1
神奈川	96.0	-	4.0
新潟	92.6	2.0	5.4
富山	95.0	2.0	3.0
石川	96.2	0.8	3.0
福井	96.4	1.8	1.8
山梨	96.5	1.6	1.8
長野	96.5	1.9	1.6
岐阜	95.1	0.9	4.1
静岡	95.4	1.2	3.4
愛知	98.8	0.3	0.9
三重	97.9	0.6	1.5
滋賀	96.4	1.0	2.7
京都	96.9	1.0	2.0
大阪	98.4	0.0	1.6
兵庫	85.2	13.2	1.6
奈良	98.2	1.1	0.7
和歌山	98.4	0.1	1.5
鳥取	96.7	1.2	2.1
島根	95.9	1.0	3.0
岡山	93.5	4.0	2.5
広島	94.6	2.4	3.0
山口	94.5	3.3	2.2
徳島	97.2	0.6	2.1
香川	97.2	1.1	1.7
愛媛	98.3	0.2	1.5
高知	97.5	0.8	1.6
福岡	96.9	1.1	2.0
佐賀	79.8	0.5	19.7
長崎	98.5	0.2	1.3
熊本	92.3	0.2	7.5
大分	98.5	0.2	1.3
宮崎	98.7	0.1	1.2
鹿児島	98.3	0.0	1.7
沖縄	98.0	0.0	2.0
全国計	95.2	1.2	3.6

資料) 当機構情報部「令和4年産水稻の品種別作付動向について」

注1) 道府県別作付割合は道府県行政等から情報提供いただいた数値を用いて推計した。

2) ラウンドの関係で全国計と内訳が一致しない場合がある。

2 もち米の品種

○ もち米主産地の作付品種は、北海道では「風の子もち、はくちょうもち、きたゆきもち」で約98%、秋田では「たつこもち、きぬのはだ」で約90%、新潟では「こがねもち、わたぼうし」で約90%、佐賀や熊本では「ヒヨクモチ」で約90%と、もち米は、栽培地域の気候やもち米製品の適性等を踏まえた様々な品種が作付け。

○ また、広域的に作付けされている品種は、福岡、佐賀、熊本等の「ヒヨクモチ」、岩手、山形、千葉等の「ヒメノモチ」等で、北海道の「風の子もち」、秋田の「たつこもち」、滋賀の「滋賀羽二重糯」等の作付けは地域限定的となっている。

令和4年産もち米の道府県別作付上位品種

(単位：%)

道府県	全国のもち米 作付面積に占 める割合	作付順位 (道府県のもち米作付面積に占める割合)						合計
		1位		2位		3位		
		品種	割合	品種	割合	品種	割合	
北海道	16.8	風の子もち	42.7	はくちょうもち	31.5	きたゆきもち	24.2	98.4
青森	0.8	あかりもち	70.8	アネコモチ	29.0			99.7
岩手	3.8	ヒメノモチ	82.3	こがねもち	11.4	もち美人	4.1	97.8
宮城	3.0	みやこがねもち	97.9					97.9
秋田	10.1	たつこもち	63.0	きぬのはだ	26.1			89.1
山形	3.2	ヒメノモチ	72.0	でわのもち	11.7	こゆきもち	8.7	92.4
福島	2.4	こがねもち	68.4	ヒメノモチ	31.6			100.0
茨城	3.4	マンゲツモチ	93.7	ヒメノモチ	4.5	ココノエモチ	1.8	100.0
栃木	1.2	きぬはなもち	84.7					84.7
群馬	0.5	群馬糯5号	60.1	まんぶくもち	9.7	マンゲツモチ	9.2	79.0
埼玉	0.2	峰の雪もち	50.0					50.0
千葉	4.0	ヒメノモチ	68.3	ふさのもち	14.6	マンゲツモチ	12.2	95.1
神奈川	0.2	喜寿糯他	100.0					100.0
新潟	12.9	こがねもち	51.9	わたぼうし	40.4			92.3
富山	2.2	新大正糯	62.6	とみちから	23.5	らいちょうもち	4.6	90.7
石川	1.4	カグラモチ	38.7	白山もち	28.6	石川糯24号	16.4	83.6
福井	0.9	カグラモチ	50.0	タンチョウモチ	50.0			100.0
山梨	0.2	こがねもち	24.4	朝紫	23.3	マンゲツモチ	19.8	67.4
長野	1.0	もちひかり	54.3	モリモリモチ	19.4	オラガモチ	4.3	78.1
岐阜	1.7	たかやまもち	77.9	モチミノリ	17.6	ココノエモチ	4.5	100.0
静岡	1.0	葵美人	41.1	峰の雪もち	40.5	ヒヨクモチ	18.4	100.0
愛知	0.5	十五夜糯	17.4	ココノエモチ	8.7	こはるもち	8.7	34.8
三重	0.8	あゆみもち	49.7	カグラモチ	23.4	喜寿糯	12.4	85.5

道府県	全国のもち米 作付面積に占 める割合	作付順位 (道府県のもち米作付面積に占める割合)						合計
		1位		2位		3位		
		品種	割合	品種	割合	品種	割合	
滋賀	1.6	滋賀羽二重糯	87.6					87.6
京都	0.6	新羽二重糯	95.0	カグラモチ	5.0		(3位以下の品種はうるち米に含まれる。)	100.0
大阪	0.1	モチミノリ	100.0					100.0
兵庫	1.1	はりまもち	33.7	ヤマフクモチ	26.0	マンゲツモチ	16.8	76.5
奈良	0.1	旭糯	40.4	ココノエモチ	28.2			68.6
和歌山	0.2	モチミノリ	85.6					85.6
鳥取	0.5	ヒメノモチ	43.7	ハクトモチ	37.0	鈴原糯	3.5	84.3
島根	1.0	ヒメノモチ	39.3	ミコトモチ	25.0	ココノエモチ	17.9	82.1
岡山	1.4	ヒメノモチ	56.0	ココノエモチ	24.0	ヤシロモチ	8.0	88.0
広島	1.3	ヒメノモチ	53.7	ココノエモチ	38.7	タンチョウモチ	6.8	99.2
山口	0.8	ミヤタマモチ	52.0	マンゲツモチ	26.2	ヒヨクモチ	11.5	89.7
徳島	0.4	モチミノリ	65.2					65.2
香川	0.4	クレナイモチ	100.0					100.0
愛媛	0.4	モチミノリ	50.8	クレナイモチ	49.2			100.0
高知	0.4	たまひめもち	17.8	サイワイモチ	15.5	ヒデコモチ	9.3	42.5
福岡	1.4	ヒヨクモチ	100.0			(2位以下の品種はうるち米に含まれる。)		100.0
佐賀	9.2	ヒヨクモチ	99.1	ヒデコモチ	0.7			99.8
長崎	0.3	ヒヨクモチ	18.2	モチミノリ	17.9	サイワイモチ	10.4	46.4
熊本	4.8	ヒヨクモチ	86.9	峰の雪もち	5.3			92.2
大分	0.5	ヒヨクモチ	38.0	ハクトモチ	10.5	ひみこもち	1.3	49.7
宮崎	0.4	クスタマモチ	42.0	いわともち	19.1	ヒヨクモチ	14.6	75.8
鹿児島	0.6	さつま絹もち	45.8	さつま雪もち	26.5	峰の雪もち	9.8	82.0
沖縄	0.0	ゆがふもち	4.9	ウルマモチ	4.8			9.7
合計	100.0							

資料) 当機構情報部「令和4年産水稲の品種別作付動向について」

注) ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

3 もち米の検査(数量、等級)

○ 近年のもち米の検査数量は、うるち米等米穀の約4%の約20万トンで、検査等級別には、地域、気象条件等により差異はあるが、全国平均で50~60%が1等。

米穀の農産物検査結果

(単位:千トン)

年産	うるち玄米		もち玄米①				合計②	
	水稻	醸造用	水稻	対前年差	対前年比	陸稲	①/②	
平成26	5,275	90	191	▲1	100%	0.1	5,556	3.4%
27	4,869	109	224	33	117%	0.0	5,201	4.3%
28	4,929	107	250	27	112%	0.0	5,286	4.7%
29	4,764	102	223	▲28	89%	0.0	5,089	4.4%
30	4,656	96	180	▲43	81%	0.0	4,932	3.6%
令和元	4,836	96	174	▲6	97%	0.0	5,107	3.4%
2	4,902	85	183	9	105%	0.0	5,171	3.5%
3	4,795	75	206	23	112%	0.0	5,075	4.1%
4	4,523	80	200	▲6	109%	0.0	4,803	4.2%
5	3,821	86	174	▲26	85%	0.0	4,081	4.3%

資料) 農林水産省「農産物検査結果(5年産は令和5年12月31日現在)」

注) ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

水稻もち玄米の等級別検査数量

(単位:千トン)

区分	3年産①		4年産②		前年産との比較		4年産(令和4.12月末)③		5年産(令和5.12月末)④		前年産同月との比較	
	数量	構成比	数量	構成比	②-①	②/①	数量	構成比	④-③	④/③	④-③	④/③
水稻もち玄米	206.1	(100%)	200.1	(100%)	▲6.0	97%	183.0	174.3	(100%)	▲8.7	95%	
1等	121.1	59%	111.8	56%	▲9.2	92%	109.7	96.8	56%	▲12.9	88%	
2等	75.2	37%	78.8	39%	3.6	105%	64.9	66.9	38%	2.1	103%	
3等	5.7	3%	5.7	3%	▲0.0	100%	5.6	7.6	4%	2.0	136%	
規格外	4.1	2%	3.8	2%	▲0.3	93%	2.9	3.0	2%	0.1	105%	

資料) 農林水産省「農産物検査結果(令和5年産は令和5年12月31日現在)」

注) ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

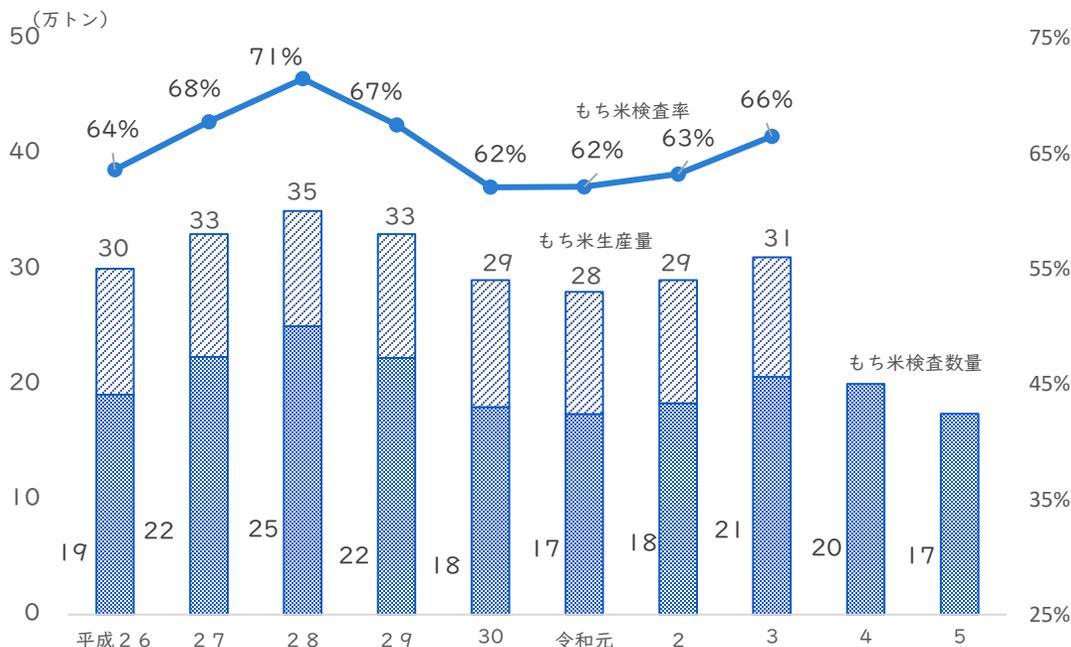
もち米の生産量と検査数量

(単位:万トン)

年産	もち米生産量①	もち米検査数量②	もち米検査率②/①
平成26	30	19.1	64%
27	33	22.4	68%
28	35	25.0	71%
29	33	22.3	67%
30	29	18.0	62%
令和元	28	17.4	62%
2	29	18.3	63%
3	31	20.6	66%
4	未公表	20.0	-
5	未公表	17.4	-

資料) 農林水産省「米をめぐる参考資料」
「農産物検査結果(令和5年産は令和5年12月31日現在)」

もち米の生産量と検査数量



4 もち米の検査(品種銘柄、産地)

○ もち米の品種銘柄別検査数量は、ヒヨクモチ、ヒメノモチ、風の子もち、たつこもち、こがねもち、はくちょうもち、わたぼうし、きたゆきもち、きぬのはだ、みやこがねもちの上位10品種銘柄で約80%を占め、品種銘柄に大きな変動ない。

○ もち米の産地別検査数量は、北海道、新潟、秋田、佐賀、熊本、千葉、岩手、山形、宮城、富山の上位10道県で約85%を占め、もち米生産団地の定着等により、主産地に大きな変動はない。

もち米の品種銘柄別検査数量

(単位：千トン)

区 分	3年産		4年産		前年産との比較		4年産(令4.12月末)③		5年産(令5.12月末)		前年産同月との比較	
	①	構成比(100%)	②	構成比(100%)	②-①	②/①	④	構成比(100%)	④-③	④/③	④-③	④/③
品種銘柄計	199.4		193.5		▲5.9	97%	177.0		169.4		▲7.6	96%
うち、上位10品種	165.1	83%	159.9	83%	▲5.3	97%	144.3		138.0	82%	▲6.2	96%
ヒヨクモチ	34.4	17%	34.0	18%	▲0.5	99%	26.2		26.1	15%	▲0.1	100%
ヒメノモチ	23.8	12%	24.1	12%	0.3	101%	24.0		23.3	14%	▲0.7	97%
風の子もち	22.3	11%	21.5	11%	▲0.8	97%	21.0		18.5	11%	▲2.5	88%
たつこもち	18.2	9%	15.4	8%	▲2.7	85%	10.3		10.9	6%	0.6	105%
こがねもち	16.8	8%	17.4	9%	0.5	103%	17.3		16.4	10%	▲0.8	95%
はくちょうもち	14.6	7%	14.2	7%	▲0.4	97%	14.2		13.9	8%	▲0.3	98%
わたぼうし	12.3	6%	12.2	6%	▲0.1	99%	12.2		11.6	7%	▲0.6	95%
きたゆきもち	10.7	5%	9.8	5%	▲0.9	92%	9.8		8.3	5%	▲1.5	84%
きぬのはだ	7.1	4%	6.5	3%	▲0.6	91%	4.8		4.2	2%	▲0.6	87%
みやこがねもち	4.8	2%	4.7	2%	▲0.1	98%	4.5		4.9	3%	0.4	109%

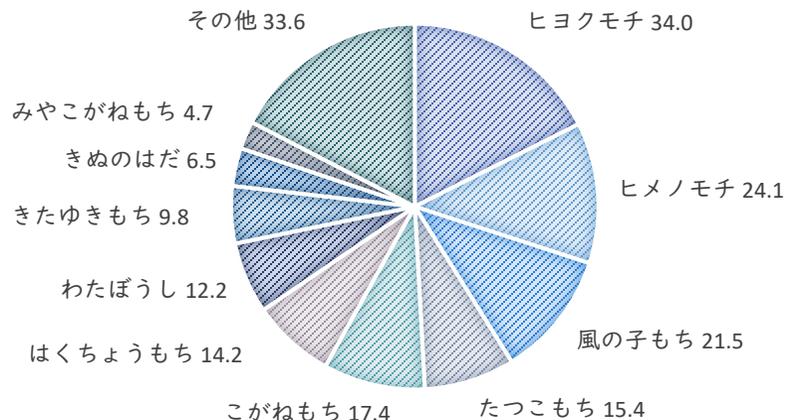
資料) 農林水産省「農産物検査結果(令和5年産は令和5年12月31日現在)」

注1) 品種銘柄計は、産地品種銘柄以外の検査数量も含まれるため検査数量計と一致しない。

2) ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

令和4年産もち米品種銘柄別検査数量

(千トン)



もち米の産地別検査数量

(単位：千トン)

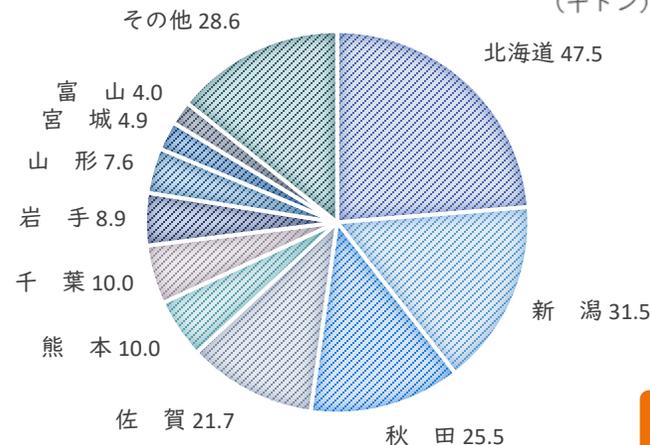
区 分	3年産①		4年産②		前年産との比較		4年産(令4.12月末)③		5年産(令5.12月末)④		前年産同月との比較	
	産地	検査数量(100%)	産地	検査数量(100%)	②-①	②/①	④	検査数量(100%)	④-③	④/③	④-③	④/③
全国計		206.1		200.1	▲6.0	97%	183.0		174.3		▲8.7	95%
順	1	北海道	49.8	北海道	47.5	▲2.4	95%	46.8	北海道	42.7	▲4.1	91%
	2	新潟	30.3	新潟	31.5	1.2	104%	31.4	新潟	29.9	▲1.5	95%
	3	秋田	29.5	秋田	25.5	▲4.0	87%	18.5	秋田	18.1	▲0.4	98%
	4	佐賀	22.3	佐賀	21.7	▲0.5	98%	17.2	佐賀	16.5	▲0.7	96%
	5	熊本	9.9	熊本	10.0	0.1	101%	8.2	千葉	9.9	0.0	100%
1~5計		(69%) 141.7		(68%) 136.2	▲5.5	96%	122.2		(67%) 117.3		▲4.9	96%
位	6	千葉	9.3	千葉	10.0	0.7	108%	9.9	岩手	8.5	▲0.3	96%
	7	岩手	9.2	岩手	8.9	▲0.3	96%	8.9	熊本	8.4	0.2	102%
	8	山形	8.1	山形	7.6	▲0.5	94%	7.6	山形	6.9	▲0.6	92%
	9	宮城	5.0	宮城	4.9	▲0.1	97%	4.6	宮城	5.0	0.4	108%
	10	富山	4.3	富山	4.0	▲0.3	93%	4.0	富山	4.0	▲0.0	100%
1~10計		(86%) 177.6		(86%) 171.6	▲6.1	97%	157.1		(86%) 150.1		▲7.0	96%

資料) 農林水産省「農産物検査結果(令和5年産は令和5年12月31日現在)」

注) ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

令和4年産もち米主産地別検査数量

(千トン)



5 主食用もち米の集荷

- 近年の主食用もち米の全国集出荷団体の集荷数量は約8万トンで、もち米の検査数量に対する集荷率は約40%。
- 令和4年産主食用もち米の集荷の多い産地は、北海道、佐賀、新潟、岩手、熊本、宮城、福岡、岐阜、富山、秋田の上位10道県で90%以上。
- もち米の検査数量に対する集荷率は、佐賀、北海道、岩手では70%以上と高い一方、秋田、千葉では数%と低い。

主食用もち米の集荷数量

(単位：万トン)

年産	生産数量①	検査数量②	主食用もち米集荷数量③	加工用米・新規需要米④	その他②-③-④	主食用もち米集荷率③/②	参考(③+④)/②
平成26	30	19.1	9.6	3.5	6.0	50%	69%
27	33	22.4	9.6	4.9	7.9	43%	65%
28	35	25.0	10.4	6.1	8.5	42%	66%
29	33	22.3	9.2	6.6	6.5	41%	71%
30	29	18.0	7.6	5.5	4.9	42%	73%
令和元	28	17.4	7.2	5.1	5.1	41%	71%
2	29	18.3	8.0	5.1	5.2	44%	72%
3	31	20.6	8.7	7.0	4.9	42%	76%
4	未公表	20.0	8.0	7.3	4.7	40%	76%
5	未公表	17.4	6.7	7.3	3.4	39%	80%

(参考) 主産地のもち米検査数量に対する主食用もち米集荷数量
(令和2~4年産平均値)

産地	(単位：千トン)		
	もち米検査数量①	主食用もち米集荷数量②	主食用もち米集荷率②/①
北海道	47.8	34.1	71%
新潟	28.9	6.6	23%
秋田	25.6	1.6	6%
佐賀	20.5	16.1	78%
熊本	9.6	3.0	31%
岩手	9.3	6.6	71%
千葉	9.0	0.1	1%
山形	7.7	1.7	22%
宮城	4.9	2.4	49%
富山	4.1	1.4	35%
全国計	194.7	82.3	42%

資料) 検査数量は農林水産省「農産物検査結果」、主食用もち米集荷数量は全国集出荷団体調べ

資料1) 生産量は農林水産省「米をめぐる参考資料」、検査数量は農林水産省「農産物検査結果(令和5年産は令和5年12月31日現在)」

2) 主食用もち米集荷量は全国集出荷団体調べ(令和5年産は令和5年12月31日現在、加工用米・新規需要米は農林水産省「加工用米生産量」及び「新規需要米の生産量(除く飼料用米)」で、令和5年産は加工用米取組計画認定状況(令和5年9月15日現在)

注) その他は、生産者直売や生産者自らの加工品製造販売などである。

主食用もち米の産地別集荷数量

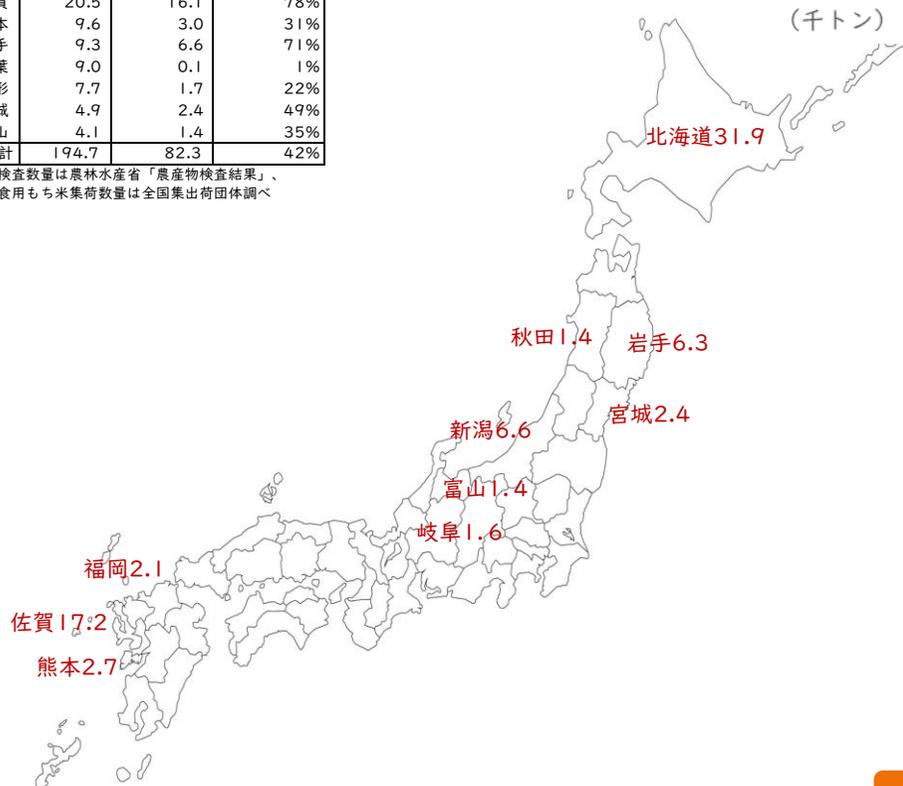
(単位：千トン)

区分	5年産			4年産			3年産		
	道県	集荷数量	前年産との比較①-②	道県	集荷数量	前年産との比較②-③	道県	集荷数量	
全国計		(100%) 67.4	▲13.1 84%		(100%) 80.5	▲6.2 93%		(100%) 86.7	
順	1 北海道	26.8	▲5.1 84%	北海道	31.9	▲4.2 88%	北海道	36.1	
	2 佐賀	12.1	▲5.1 70%	佐賀	17.2	▲0.2 99%	佐賀	17.5	
	3 新潟	6.2	▲0.4 94%	新潟	6.6	▲0.3 96%	新潟	6.8	
	4 岩手	5.7	▲0.6 91%	岩手	6.3	▲0.2 98%	岩手	6.5	
	5 宮城	2.4	▲0.1 98%	熊本	2.7	▲0.6 81%	熊本	3.3	
位	1~5計	(81%) 53.2	▲11.5 82%		(80%) 64.7	▲5.4 92%		(79%) 70.1	
	6 熊本	2.3	▲0.4 87%	宮城	2.4	0.1 103%	宮城	2.4	
	7 福岡	2.0	▲0.2 92%	福岡	2.1	▲0.2 93%	福岡	2.3	
	8 秋田	1.4	0.1 104%	岐阜	1.6	0.1 106%	山形	2.1	
	9 岐阜	1.4	▲0.2 88%	富山	1.4	0.1 104%	岐阜	1.5	
10 富山	1.2	▲0.2 85%	秋田	1.4	▲0.1 91%	秋田	1.5		
1~10計	(92%) 61.6	▲12.1 84%		(92%) 73.7	▲6.2 92%		(92%) 79.9		

資料) 全国出荷団体調べ

注) ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

令和4年産主食用もち米主産地の集荷数量



6 主食用もち米の契約栽培

- もち米は、その生産や需要の特性により、作付が変動して需給に不均衡を生じ易いことにかんがみ、昭和48年産米以降、全国集出荷団体ともち米需要者団体等の協議に基づく契約栽培を実施。
- 平成17年産米からは、平成15年産米の不作(作況90)を契機として、より一層の安定的なもち米の需要に応じた供給を図るため、3ヶ年を基本とした複数年(播種前)契約を導入。
- これに加え、もち米の販売は、もち米集荷が確実な数量から契約栽培数量を差し引いた残数量をもとに契約された「年間契約」と、当用購入等の対応をしている「スポット取引」の3つの方法で取引。
- 契約栽培と年間契約を合わせた契約販売数量は、全国集出荷団体集荷数量の約70%～80%と安定した取引。

もち米契約栽培の推移

(単位：千トン)

年産		平成25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4	5	6	7
契約年	平成23	56.6												
	24	1.8	49.6											
	25	11.5	3.2	48.8										
	26		13.7	6.4	46.1									
	27			7.2	4.3	44.3								
	28				11.0	6.3	50.4							
	29					7.9	3.5	43.4						
	30						6.8	8.0	45.6					
	令和元							6.2	4.8	46.4				
	2								7.5	4.8	48.9			
	3									5.6	3.0	49.3		
4										4.7	2.2	46.9		
5											4.3	3.2	47.2	
年間契約②		10.1	8.0	8.9	7.6	5.6	1.2	3.8	3.2	1.9	1.7	1.1		
①+②		80.0	74.5	71.3	69.0	64.2	62.0	61.4	61.2	58.7	58.3	56.9	50.1	47.2
集荷数量③		106.1	95.6	96.2	103.6	92.4	76.4	72.1	79.8	87.0	80.2	67.4		
(①+②)/③		75%	78%	74%	67%	69%	81%	85%	77%	67%	73%	84%		

(参考) 令和5年産もち米契約栽培の経過

令和3年6月 第1回契約栽培数量の提示 (全国集出荷団体⇒もち米需要者団体)
7月 // 申込及び契約締結 (もち米需要者団体⇄全国集出荷団体)

4年6月 第2回契約栽培数量の提示 (全国集出荷団体⇒もち米需要者団体)
7月 // 申込及び契約締結 (もち米需要者団体⇄全国集出荷団体)

5年6月 第3回契約栽培数量の提示 (全国集出荷団体⇒もち米需要者団体)
7月 // 申込及び契約締結 (もち米需要者団体⇄全国集出荷団体)

10月 第1回年間契約販売数量の提示 (全国集出荷団体⇒もち米需要者団体)
11月 // 申込及び契約締結 (もち米需要者団体⇄全国集出荷団体)
// 第2回年間契約販売数量の提示 (全国集出荷団体⇒もち米需要者団体)
// // 申込及び契約締結 (もち米需要者団体⇄全国集出荷団体)

資料) 全国集出荷団体調べ(令和5年産集荷数量は令和5年12月31日現在)

注) ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

7 主食用もち米の販売・購入

- 近年の全国集出荷団体の主食用もち米の販売数量は約8万トン。お正月需要に向けた10月～12月の販売数量が多い。都道府県別には大消費地や餅加工製造企業の所在地の東京、新潟などでの販売数量が多い。
- もち米需要者団体別販売数量(令5R Y)は、卸団体約4万トン、餅・加工米飯団体約2万トン、米菓・米穀粉団体約1万トン。

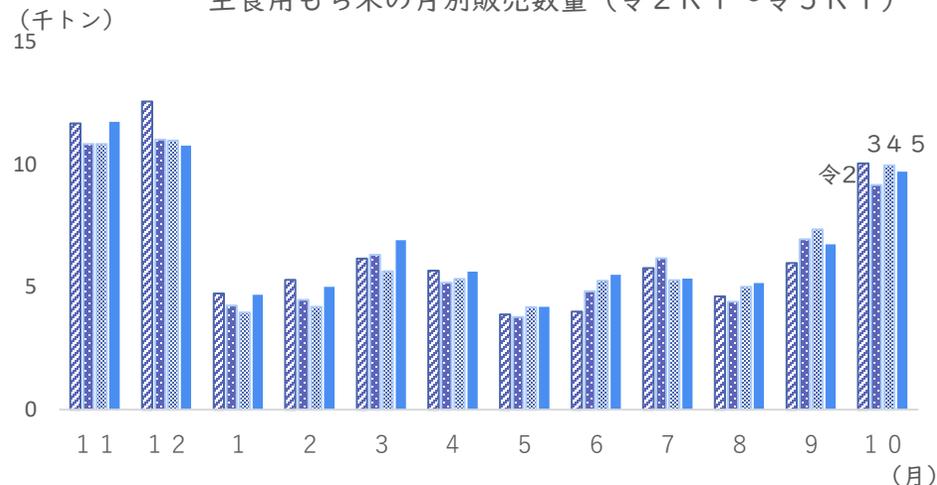
主食用もち米の月別販売数量 (単位：千トン)

米穀年度 月	令和5米穀年度		4		3		2	
	販売数量	対前年比	販売数量	対前年比	販売数量	対前年比	販売数量	対前年比
11	11.7	108%	10.8	100%	10.8	93%	11.7	96%
12	10.8	98%	11.0	100%	11.0	88%	12.6	105%
1	4.7	118%	4.0	93%	4.2	90%	4.7	118%
2	5.0	120%	4.2	94%	4.5	85%	5.3	105%
3	6.9	122%	5.6	89%	6.3	102%	6.2	46%
4	5.6	106%	5.3	103%	5.2	91%	5.7	107%
5	4.2	101%	4.2	111%	3.8	97%	3.9	80%
6	5.5	105%	5.2	109%	4.8	121%	4.0	101%
7	5.4	102%	5.3	86%	6.2	107%	5.8	130%
8	5.2	103%	5.0	114%	4.4	95%	4.6	101%
9	6.7	92%	7.4	106%	7.0	116%	6.0	108%
10	9.7	97%	10.0	109%	9.2	91%	10.0	61%
合計	81.4	104%	78.0	101%	77.3	96%	80.4	87%

資料) 全国集出荷団体調べ

注) ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

主食用もち米の月別販売数量 (令2R Y～令5R Y)



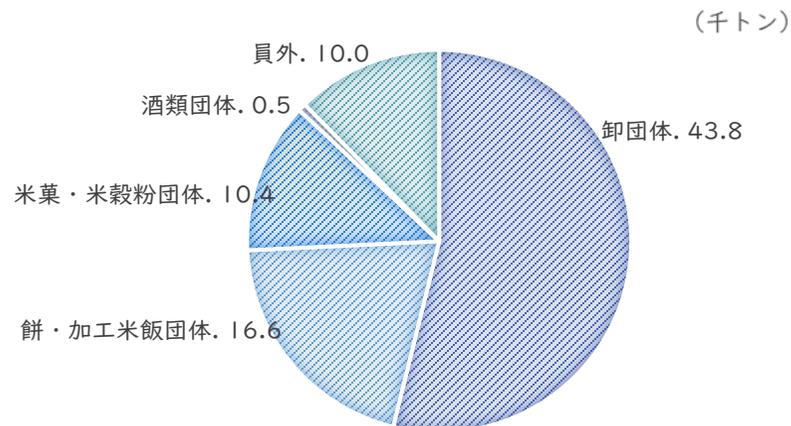
主食用もち米の都道府県別販売数量 (単位：千トン)

区分	令和5米穀年度		4		3		2		
	都道府県	販売数量	都道府県	販売数量	都道府県	販売数量	都道府県	販売数量	
全国計		(100%) 81.4		(100%) 78.0		(100%) 77.3		(100%) 80.4	
順位	1	東京	18.3	東京	17.1	新潟	19.5	新潟	20.3
	2	新潟	18.0	新潟	15.4	東京	16.4	東京	17.1
	3	北海道	10.9	北海道	10.2	北海道	8.1	北海道	8.5
	4	兵庫	6.2	愛知	6.5	愛知	6.1	兵庫	5.7
	5	愛知	5.9	兵庫	6.0	兵庫	5.3	愛知	5.6
	1～5計	(59%) 59.2	(71%) 55.1	(72%) 55.5	(71%) 57.3				
順位	6	神奈川	2.0	神奈川	2.3	神奈川	2.1	神奈川	2.3
	7	佐賀	1.9	熊本	1.6	佐賀	1.8	岐阜	1.8
	8	岐阜	1.7	岐阜	1.6	岐阜	1.7	栃木	1.7
	9	熊本	1.5	栃木	1.5	栃木	1.5	熊本	1.6
	10	富山	1.4	山形	1.5	山形	1.3	富山	1.5
	1～10計	(68%) 67.8	(82%) 63.6	(83%) 63.9	(82%) 66.1				

資料) 全国集出荷団体調べ

注) ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

令和5米穀年度もち米需要団体別販売数量



8 加工用もち米等の生産・流通

○ 加工米飯、米穀粉、米菓等の用途に供する目的で生産・流通する加工用米のうち、もち米は令和4年産70千トン、令和5年産(計画)73千トンと増加。

○ 小麦等の代替用途用の米粉用、輸出等の新市場開拓用の新規需要米(除く飼料用米)のうち、もち米は令和4年産で3千トン。

加工用もち米・新規需要もち米の生産・流通

(単位:千トン)

年産	制度	加工用米				新規需要米(除く飼料用米)				
		うるち米①	もち米②	計③	②/③	うるち米④	もち米⑤	醸造用⑥	計⑦	⑤/⑦
平成26		232	34	266	13%	27	1	4	32	3%
27		205	48	253	19%	30	1	7	38	3%
28		219	59	278	21%	26	2	7	34	5%
29		216	64	279	23%	34	2	7	43	5%
30		222	53	274	19%	45	2	0	47	4%
令和元		204	49	253	19%	48	2	0	50	4%
2		194	49	243	20%	61	2	3	66	3%
3		195	67	262	26%	74	3	2	78	4%
4		201	70	271	26%	80	3	3	86	4%
5		197	73	270	27%					

資料) 農林水産省 加工用米は「加工用米生産量」、新規需要米は「新規需要米の生産量」

(令和5年産は、取組計画認定状況(令和5年9月15日現在))

注) ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

(参考) 加工用米制度

加工用米とは、お酒、加工米飯、味噌、米菓等、以下の用途に供給することを目的として生産される米穀であり、非主食用として取り扱われ、水田活用の直接支払交付金の戦略作物助成の対象作物に該当し、10アール当たり2万円の助成を受けることができる。

- ① 清酒、焼酎、その他米穀を原料とする酒類
- ② 加工米飯(肉又は魚、甲殻類、軟体動物その他の水生動物の混入割合が3%以上である密封包装したレトルト米飯、冷凍米飯等であって、2ヶ月以上の保存に耐えられるもの)
- ③ 味噌、その他米穀を原料とする調味料
- ④ 米穀粉、玄米粉、その他これらに類するもの
- ⑤ 米菓、その他米穀を原料又は材料とする菓子
- ⑥ 玄米茶、ビタミン強化米、甘酒、アルファ化米又はアルファ化米を原料とする製品、漬物もろみ、朝食シリアル、乳児食、ライス・スターチ、いり玄米スープ、包装もち、水産練製品及び米穀粉混入製品
- ⑦ その他農産局長が特に必要と認めた用途

加工用米の生産に当たっては、全国生産出荷団体等の加工用米取組主体は、加工用米需要者団体等からの購入計画等を基に作成した「加工用米の生産に係る取組計画認定申請書」を国に提出し、毎年度、その取組計画について認定を受けることとなっている。

なお、加工用米需要者は主食用米からの置き換えて加工用米を使用することは認められていない。

令和5年産加工用米の都道府県別の取組計画認定状況(9月15日現在)

産地	計画生産量(トン)			作付面積(ha)		
	うるち米	もち米	合計	うるち米	もち米	合計
全 国	197,293	72,855	270,148	35,881	12,916	48,797
北海道	25,589	13,042	38,631	4,592	2,328	6,920
青 森	4,580	401	4,981	722	65	787
岩 手	5,591	1,460	7,051	1,014	269	1,283
宮 城	2,388	1,044	3,431	433	193	626
秋 田	26,177	22,090	48,268	4,508	3,756	8,264
山 形	23,974	3,108	27,082	3,983	532	4,516
福 島	2,054	474	2,529	369	79	448
茨 城	4,658	370	5,029	877	70	947
栃 木	8,160	156	8,316	1,482	31	1,513
群 馬	6,993		6,993	1,389		1,389
埼 玉	727	0	727	144	0	144
千 葉	4,387	4,917	9,304	794	879	1,672
東 京						
神 奈 川						
新 潟	22,281	17,234	39,515	3,989	3,104	7,093
富 山	5,157	1,484	6,641	945	275	1,220
石 川	1,961	661	2,622	362	119	481
福 井	1,164	511	1,676	224	98	322
山 梨	345		345	62		62
山 梨	4,259	223	4,482	697	36	733
岐 阜	3,507	5	3,513	739	1	741
静 岡	550		550	105		105
愛 知	2,708	201	2,909	530	43	573
三 重	761	79	840	152	16	168
滋 賀	2,759	393	3,152	532	75	608
京 都	2,784	14	2,798	549	3	551
大 阪	0		0	0		0
兵 庫	3,125	279	3,405	619	55	674
奈 良	96		96	19		19
和 歌 山						
鳥 取	130		130	25		25
島 根	1,280	41	1,321	243	9	252
山 梨	1,529	84	1,613	278	17	295
山 梨	1,783	82	1,865	336	15	351
山 梨	4,944	91	5,036	958	18	976
徳 島	94	2	96	20	0	20
香 川	238		238	48		48
愛 媛	170		170	34		34
高 知	416		416	84		84
福 岡	628	516	1,143	125	99	224
佐 賀	244	1,959	2,203	48	358	406
長 崎	30		30	6		6
熊 本	1,737	1,823	3,560	323	349	672
分 岐	721		721	148		148
大 崎	9,921		9,921	1,978		1,978
鹿 児 島	6,641	109	6,751	1,368	22	1,389
沖 縄	50		50	30		30

資料) 農林水産省「令和5年産加工用米の取組計画認定状況」

注) ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

9 加工原材料米穀の使用状況

○ 近年の日本酒、米菓、米穀粉などの加工原材料用米穀の使用量は、うるち米約70万トン、もち米約20万トンと推計。

○ 加工原材料用もち米使用量は、制度別には主食用米、加工用米及び特定米穀で約14万トン、MA米や輸入米粉調製品の外国産原材料で約5万トン、用途別には包装もち約8万トン、米菓6万トン、米穀粉3万トン、加工米飯1万トンと推計。

加工原材料用米穀の使用状況（推計）

〈1 うるち米〉 (単位：万トン)

用途	制度 米穀 年度	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉 調製品	制度別計
日本酒	29	12(10)	9		3			24(10)
	30	11(9)	9		4			24(9)
	元	11(9)	9		3			23(9)
	2	9(8)	8		3			21(8)
	3	9(7)	6		3			18(7)
米菓	29	1	2		4	5	1	13
	30	1	1		5	5	2	13
	元	1	2		5	3	2	13
	2	1	1		6	3	2	13
	3	1	2		5	3	2	12
加工米飯 (無菌包装 米飯除く)	29	5	5					11
	30	5	6					11
	元	4	7					11
	2	4	6					10
	3	2	8					10
味噌	29		1		2	7		10
	30		1		2	7		10
	元		1		3	5		10
	2		1		3	5		10
	3		1		4	4		9
焼酎 (泡盛含 む)	29		2		3	2		8
	30		2		3	2		7
	元		1		4	2		7
	2		1		4	2		7
	3		1		3	1		6
米穀粉	29		1	2	1	2	1	8
	30		1	3	1	2	1	8
	元		1	3	1	2	1	9
	2		1	3	1	2	1	9
	3		1	4	1	2	1	8
その他	29	1	1		1	1		4
	30	1	2		1	1		4
	元	1	1		1	1		4
	2	1	2		1	1		4
	3	1	1		1	1		4
用途別計	29	19(10)	22	2	15	18	2	78(10)
	30	18(9)	21	3	16	16	3	77(9)
	元	16(9)	22	3	18	13	3	76(9)
	2	15(8)	20	3	18	13	3	72(8)
	3	12(7)	20	4	17	11	3	67(7)

〈2 もち米〉 (単位：万トン)

用途	制度 米穀 年度	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉 調製品	制度別計
包装もち	29	3	3				1	8
	30	2	3				1	7
	元	3	3				1	8
	2	4	3				1	8
	3	4	3				1	8
米菓	29	1	2		1	1	1	6
	30	1	2		1	1	1	6
	元	1	2		1	1	1	6
	2	1	2		1	1	1	6
	3	1	2		2		1	6
米穀粉	29	1	1				1	3
	30	1	1				1	3
	元	1	1				1	3
	2	1	1				1	3
	3	1	1				1	2
加工米飯 (無菌包装 米飯除く)	29	1						1
	30	1						1
	元	1						1
	2	1						1
	3	1						1
その他	29						1	2
	30						1	2
	元						1	2
	2						1	2
	3						1	2
用途別計	29	6	6		1	2	5	19
	30	6	6		1	1	5	19
	元	6	5		1	2	5	19
	2	6	5		2	1	4	19
	3	7	5		2	1	4	19

資料) 農林水産省「米に関するマンスリーレポート」、()内は酒造好適米で内数である。
 注1) 加工用米飯は、レトルト米飯用、冷凍米飯用などとして使用される原料米の使用量であり、無菌包装米飯用として使用される原料米を含んでいない。
 2) 焼酎は、単式蒸留焼酎で、泡盛用の原料米を含んでいる。
 3) その他には、玄米茶、みりん用、朝食用シリアなどがある。
 4) 特定米穀とは、水稻収穫量調査で使用するふるい目1.7mmと農家が出荷の際に使用する1.75~1.9mmの間の「ふるい下米」と、1.7mm未満の小さな粒の米（一般的に「くず米」と呼ばれているもの）の総称。
 5) ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

10 米穀粉の生産

- 近年の米菓や和菓子の原料となる米穀粉生産量は約9万トンで、うるち米を原料とする上新粉は約45%、もち米を原料とするもち粉、白玉粉、寒梅粉及びらくがん粉・みじん粉は約20%、新規米粉は約35%
- 米穀粉製造業者29社の令和4年のもち米等原料使用実績は約1万トンで、原料米に占めるもち米使用比率は19%。

米穀粉の生産量

(単位：トン、%)

年	米穀粉計		上新粉		もち粉		白玉粉		寒梅粉		らくがん・みじん粉		だんご粉		菓子種		新規米粉	
	生産量	増減率	生産量	増減率	生産量	増減率	生産量	増減率	生産量	増減率	生産量	増減率	生産量	増減率	生産量	増減率	生産量	増減率
平成25	90,364	6.4	44,539	1.4	12,538	9.7	4,567	▲1.8	1,249	▲5.7	781	▲8.9	985	19.4	1,906	▲21.5	23,797	22.0
26	88,587	▲2.0	44,062	▲1.1	11,460	▲8.6	4,550	▲0.4	1,516	21.4	860	10.1	858	▲12.9	1,774	▲6.9	23,507	▲1.2
27	94,651	6.8	46,260	5.0	11,583	1.1	4,974	9.3	1,468	▲3.2	1,007	17.1	962	12.1	2,448	38.0	25,949	10.4
28	92,693	▲2.1	46,377	0.3	10,755	▲7.1	4,992	0.4	1,606	9.4	971	▲3.6	1,543	60.4	1,756	▲28.3	24,693	▲4.8
29	94,860	2.3	47,257	1.9	9,592	▲10.8	5,246	5.1	1,535	▲4.4	945	▲2.7	1,166	▲24.4	2,419	37.8	26,700	8.1
30	93,956	▲1.0	45,643	▲3.4	9,663	0.7	4,821	▲8.1	1,534	▲0.1	984	4.1	1,310	12.3	2,506	3.6	27,495	3.0
令和元	91,179	▲3.0	43,345	▲5.0	9,406	▲2.7	4,742	▲1.6	1,560	1.7	1,120	13.8	1,159	▲11.5	2,508	0.1	27,339	▲0.6
2	91,076	▲0.1	40,559	▲6.4	8,280	▲12.0	4,851	2.3	1,485	▲4.8	1,013	▲9.6	1,114	▲3.9	2,528	0.8	31,246	14.3
3	84,964	▲6.7	35,918	▲11.4	8,812	6.4	4,062	▲16.3	1,492	0.5	993	▲2.0	1,016	▲8.8	2,183	▲13.6	30,488	▲2.4
4	92,470	8.8	42,676	18.8	9,683	9.9	4,068	0.1	1,507	1.0	1,008	1.5	1,042	2.6	1,885	▲13.7	30,601	0.4

資料) 農林水産省「食品産業動態調査」

注) 農林水産省「食品産業動態調査」の原料米使用実績は、各年の調査対象(回答)業者が異なる場合があるため、調査結果の連続性に留意(以下、同様)。



桜餅(関東風、もち粉、みじん粉、白玉粉、関西風、道明寺粉を使用)
資料) 全国穀類工業協同組合

(参考) 米穀粉製造業の原料米使用実績

(単位：トン、%)

	令和4年(29社、市場シェア4.4%推計)			平成29年(38社、市場シェア5.5%推計)			
	計	1社当たり	構成比	計	1社当たり	構成比	
もち米等	計	12,088	417	100.0	14,718	387	100.0
国内産	民間流通米	2,536	87	21.0	4,927	130	33.5
	加工用米	4,098	141	33.9	2,881	76	19.6
	新規需要米	1,334	46	11.0	0	0	0.0
	その他	1,780	61	14.7	3,751	99	25.5
	外国産米	1,642	57	13.6	1,820	48	12.4
輸入米粉調製品	698	24	5.8	1,339	35	9.1	
計	52,499	1,810	100.0	53,843	1,417	100.0	
うるち米等	政府米	171	6	0.3	63	2	0.1
	民間流通米	5,929	204	11.3	8,454	222	15.7
	加工用米	3,333	115	6.3	4,246	112	7.9
	新規需要米	12,429	429	23.7	0	0	0.0
	その他	20,349	702	38.8	24,618	648	45.7
外国産米	10,237	353	19.5	16,047	422	29.8	
輸入米粉調製品	50	2	0.1	415	11	0.8	

資料) 農林水産省「食品産業動態調査」

米粉の種類と主な製品

	使用原料	種類	用途
生粉製品(ベーター型)	もち米	白玉粉	白玉だんご、救肥、大福餅、しるこ等
		もち粉(求肥粉)	大福餅、救肥、しるこ、最中等
	うるち米	上新粉(米の粉)	だんご、柏餅、草もち、ういろう、かるかん饅頭等
糊化製品(アルファ型)	もち米	寒梅粉	押菓子、豆菓子、干菓子、糊用、工芸菓子
		上新粉みじん粉	和菓子、玉あられ、桜餅、おこし、天ぷら粉用等
		落雁粉	落雁
		道明寺	桜餅、つばき餅、おはぎ餅
		うるち米	みじん粉
	上新粉	和菓子等	
	乳児粉	乳児食、重湯用等	

資料) 全国穀類工業協同組合「米穀粉」

11 加工米飯の生産

- 令和4年の加工米飯の生産量は、消費者の食品に対する簡便化ニーズや新型コロナによる家庭食回帰等により増加し、約43万トン。
- 加工米飯製造業者5社の令和4年の赤飯などのもち米等原材料用使用量は約2千トンで、原料米に占めるもち米使用比率は21%。

加工米飯の生産量

(単位：トン、%)

年	無菌包装米飯		冷凍米飯		レトルト米飯		乾燥米飯		チルド米飯		缶詰米飯		加工米飯計	
	生産量	増減率	生産量	増減率	生産量	増減率	生産量	増減率	生産量	増減率	生産量	増減率	生産量	増減率
平成25	127,749	9.2	155,609	15.6	30,601	20.7	4,124	▲28.8	5,100	20.5	1,048	26.9	324,230	12.7
26	136,092	6.5	160,038	2.8	33,270	8.7	4,687	13.7	5,361	5.1	1,212	15.6	340,660	5.1
27	136,886	0.6	171,501	7.2	30,685	▲7.8	4,493	▲4.1	4,765	▲11.1	1,094	▲9.7	349,424	2.6
28	145,326	6.2	163,017	▲4.9	27,856	▲9.2	5,050	12.4	4,916	3.2	543	▲50.4	346,708	▲0.8
29	161,068	10.8	174,025	6.8	27,807	▲0.2	4,884	▲3.3	4,832	▲1.7	526	▲3.1	373,142	7.6
30	170,218	5.7	181,559	4.3	28,163	1.3	4,832	▲1.1	4,845	0.3	553	5.1	390,170	4.6
令和元	182,797	7.4	178,068	▲1.9	27,474	▲2.4	5,365	11.0	4,520	▲6.7	526	▲4.9	398,750	2.2
2	197,185	7.9	171,307	▲3.8	27,245	▲0.8	4,654	▲13.3	3,894	▲13.8	422	▲19.8	404,707	1.5
3	206,179	4.6	166,099	▲3.0	27,885	2.3	4,825	3.7	3,624	▲6.9	422	0.0	409,034	1.1
4	213,376	3.5	174,158	4.9	32,435	16.3	5,285	9.5	3,245	▲10.5	451	6.9	428,950	4.9



資料) 「全国米穀販売事業共済協同組合(ごはん彩々)ホームページ」

資料) 農林水産省「食品産業動態調査」

(参考) 加工米飯製造業の原料米使用実績

(単位：トン、%)

	令和4年(5社、市場シェア19%推計)			平成29年(10社、市場シェア38%推計)		
	計	1社当たり	構成比	計	1社当たり	構成比
もち米等						
計	1,718	344	100.0	8,216	822	100.0
国内産						
民間流通米	1,584	317	92.2	5,478	548	66.7
加工用米	135	27	7.8	754	75	9.2
その他	0	0	0.0	1491	149	18.1
外国産米	0	0	0.0	493	49	6.0
うるち米等						
計	6,355	1,271	100.0	41,744	4,174	100.0
国内産						
政府米	0	0	0.0	0	0	0.0
民間流通米	1,935	387	30.4	28,421	2,842	68.1
加工用米	4,420	884	69.6	11,118	1,112	26.6
その他	0	0	0.0	2,171	217	5.2
外国産米	0	0	0.0	35	4	0.1

資料) 農林水産省「食品産業動態調査」

(参考)

加工米飯の種類

- レトルト米飯： 調理されたご飯を、空気が入らない密閉容器に入れ、高温加熱殺菌したもので、常温で6ヶ月～1年保存できる。白ごはんのほか赤飯、炊き込みご飯、おかゆ、雑炊などがある。
- 無菌包装米飯： 無菌設備の下、炊きたてのご飯を密閉容器に入れたもので、常温で6ヶ月保存できる。外見はレトルトご飯に似ているが、熱を加えずに包装するので味も良く普通のご飯とほとんど変わらないと言われている。
- 冷凍米飯： 調理したご飯を-40℃以下で急速冷凍したもので、-18℃で1年間保存できる。ピラフ、チャーハン、焼きおにぎりなどがあり、家庭での利用が増えている。
- チルド米飯： 調理したご飯を包装した後殺菌し、利用するまで冷蔵庫で保存するもので、保存期間は2ヶ月くらい。主にデパートなどの食品売場で、出来たてを販売するおこわや赤飯などに利用されている。
- 缶詰米飯： 調理したご飯を缶に詰め、密閉して高温殺菌したもので、3年間保存できる。炊き込みご飯やおかゆなどがあり、非常食としても利用されている。
- 乾燥米飯： 調理したご飯を熱風などで急速乾燥させたもので、常温で3年間保存できる。軽くて持ち運びに便利のため、キャンプや登山、災害用非常食に利用される。

12 米菓の生産

- 近年の米菓の生産量は約21万トンで、もち米を原料とするあられは、その約45%の約9万トンでほぼ横ばい。
- 米菓製造業12社の令和4年のもち米等原料使用実績は約8千トンで、原料米に占めるもち米使用比率は20%。

米菓の生産量

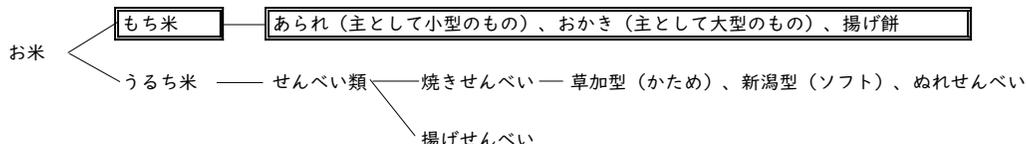
(単位：トン、%)

年	米菓		あられ		せんべい	
	生産量	増減率	生産量	増減率	生産量	増減率
平成25	216,524	▲3.7	91,471	▲5.4	125,053	▲2.4
26	216,676	0.1	93,228	1.9	123,448	▲1.3
27	220,350	1.7	94,995	1.9	125,355	1.5
28	217,687	▲1.2	92,310	▲2.8	125,377	0
29	222,868	2.4	92,200	▲0.1	130,668	4.2
30	221,481	▲0.6	93,504	1.4	127,977	▲2.1
令和元	221,796	0.1	92,259	▲1.3	129,537	1.2
2	219,437	▲1.1	93,506	1.4	125,931	▲2.8
3	214,587	▲2.2	93,836	0.4	120,751	▲4.1
4	212,519	▲1.0	93,674	▲0.2	118,845	▲1.6

資料) 農林水産省「食品産業動態調査」

米菓の分類

米菓とはお米から作ったお菓子の総称となりますが、米菓は原料により製造工程が異なり特徴も違います。もち米を原料とする米菓を一般的には「あられ」「おかき」といわれ、食感がソフトで、ロどけが良いのが特徴です。うるち米を原料とする米菓は、「おせんべい」といわれ、様々な食感のものがああります。



資料) 全国米菓工業協同組合「ホームページ」

(参考) 米菓製造業の原料米使用実績

(単位：トン、%)

	令和4年(12社、市場シェア25%推計)			平成29年(20社、市場シェア31%推計)			
	計	1社当たり	構成比	計	1社当たり	構成比	
もち米等	計	8,046	670	100.0	19,428	971	100.0
	国内産						
	民間流通米	2,273	189	28.2	5,332	267	27.4
	加工用米	4,019	335	49.9	7,717	386	39.7
	その他	588	49	7.3	2,193	110	11.3
	外国産米	598	50	7.4	781	39	4.0
うるち米等	計	31,369	2,614	100.0	35,852	1,793	100.0
	国内産						
	政府米	0	0	0.0	262	13	0.7
	民間流通米	6,376	531	20.3	8,049	402	22.5
	加工用米	15,554	1,296	49.6	9,325	456	26.0
	その他	3,356	280	10.7	3,518	176	9.8
外国産米	1,281	107	4.1	5,330	266	14.9	
米穀粉	米穀粉	4,107	342	13.1	7,856	393	21.9
	輸入米粉調製品	696	58	2.2	1,512	76	4.2

資料) 農林水産省「食品産業動態調査」



13 包装もちの生産

- 近年の包装もちの生産量は約7万トンで、消費者の食品に対する簡便化ニーズ等により増加傾向。
- 包装もち製造業17社の令和3年のもち米等原料使用実績は約5万トンで、そのうち加工用米28千トン。

包装もちの生産量

(単位：トン)

年	生切り(丸)もち	鏡もち	その他	包装もち計	増減率:%
平成26	52,487	5,263	909	58,660	1.2
27	52,934	5,068	930	58,931	0.5
28	57,665	4,644	786	63,095	7.1
29	53,343	4,422	870	58,635	▲7.0
30	57,084	4,305	893	62,282	6.2
令和元	58,076	3,881	764	62,721	0.7
2	64,929	3,674	737	69,340	10.6
3	62,620	3,966	847	67,433	▲2.8
4	63,152	3,767	776	67,696	0.4
5	66,247	3,844	720	70,811	4.6

資料：全国餅工業協同組合調べ

注1) その他は、殺菌切りもち、冷凍もち、板もちなどがある。

2) ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

(参考)

包装もちの種類

各種の包装もちは、餅搗きまでの工程（原料米→異物選別→洗米→浸漬→水切り→蒸米→粗ねり→餅搗き）は同様であるが、その後の検査・検品までの工程の違いにより、以下のとおりに分類されている。

板もち：（餅搗き）→計量袋詰→脱気包装→加熱殺菌→冷却→（検査・検品）

殺菌切りもち：（餅搗き）→成型→冷蔵固化→切断→真空包装→加熱殺菌→冷却固化→袋詰め→（検査・検品）

生切り(丸)もち：（餅搗き）→成型→冷蔵固化→（切断）→（個包装）→袋詰め→（検査・検品）

鏡もち：上下一体パック鏡もちは、充填式と個包装（切り餅、丸餅）入りがある。

冷凍もち：（餅搗き）→成型→軽く固化→切断→急速冷凍→計量・包装→（検査・検品）

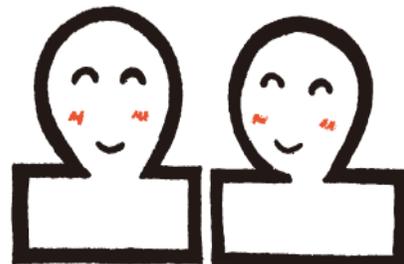
(参考) 包装もち製造業の原料米使用実績

(単位：トン、%)

	令和3年(17社、市場シェア91%推計)			平成28年(17社、市場シェア91%推計)		
	計	1社当たり	構成比	計	1社当たり	構成比
計	52,897	3,112	100.0	49,873	2,934	100.0
国内民間流通米	23,844	1,403	45.1	28,794	1,694	57.7
内加工用米	28,372	1,669	53.6	20,430	1,202	41.0
産その他	0	0	0.0	0	0	0.0
外国産米	5	0	0.0	111	7	0.2
輸入米粉調製品	677	40	1.3	538	32	1.1

資料) 農林水産省「食品産業動態調査」

10月10日は「おもちの日」



【国内産水稻もち米100%使用】



資料) 「全国餅工業協同組合」

14 もちの消費(年間購入量)

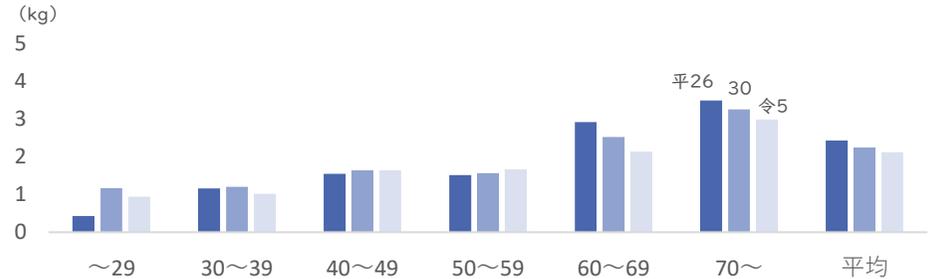
- 一世帯当たりのもちの令和5年の年間購入量は、約2.1kg、支出金額は約1.7千円と過去10年間緩やかに減少。
- 世帯主の年齢階層ごとのもちの年間購入量は、年齢が上がるとともに購入量が多いものの、10年前と比べると、各世代とも減少。

一世帯当たりのもち及び米の年間支出金額、購入量

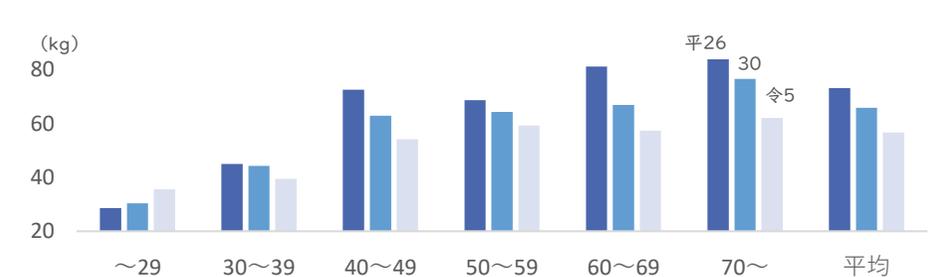
年	平均世帯人員①	もち支出金額② (円)	もち購入量③ (g)	②/③ ×100 (円/100g)	米支出金額④ (円)	米購入量⑤ (kg)	④/⑤ (円/kg)
平成26	3.03	1,867	2,432	76.74	25,108	73.05	343.71
27	3.02	1,911	2,417	79.09	22,981	69.51	330.64
28	2.99	1,858	2,459	75.56	23,522	68.74	342.19
29	2.98	1,855	2,423	76.53	23,681	67.27	352.02
30	2.98	1,699	2,250	75.54	24,314	65.75	369.83
令和元	2.97	1,726	2,229	77.45	23,212	62.20	373.22
2	2.95	1,829	2,389	76.57	23,920	64.53	370.71
3	2.93	1,726	2,125	81.23	21,862	60.80	395.55
4	2.91	1,703	2,242	75.96	19,825	57.38	345.49
5	2.90	1,676	2,120	79.06	20,397	56.65	360.03
令5/平26	-	89.8%	87.2%	103.0%	81.2%	77.5%	104.7%

資料) 総務省「家計調査(二人以上の世帯)」

もちの購入量(世帯主の年齢階層別)



米の購入量(世帯主の年齢階層別)



もち及び米の購入量(世帯主の年齢階層別)

(単位: kg)

		~29(歳)	30~39	40~49	50~59	60~69	70~	平均
もち	平成26	0.43	1.16	1.55	1.52	2.92	3.49	2.49
	30	1.17	1.20	1.64	1.57	2.53	3.25	2.25
	令和5	0.94	1.02	1.65	2.02	2.14	2.99	2.12
米	平成26	28.53	44.97	72.47	68.62	81.10	83.78	73.05
	30	30.35	44.25	62.85	64.21	66.84	76.46	65.75
	令和5	35.50	39.46	54.09	59.25	57.37	61.98	56.65

資料) 総務省「家計調査(二人以上世帯)」

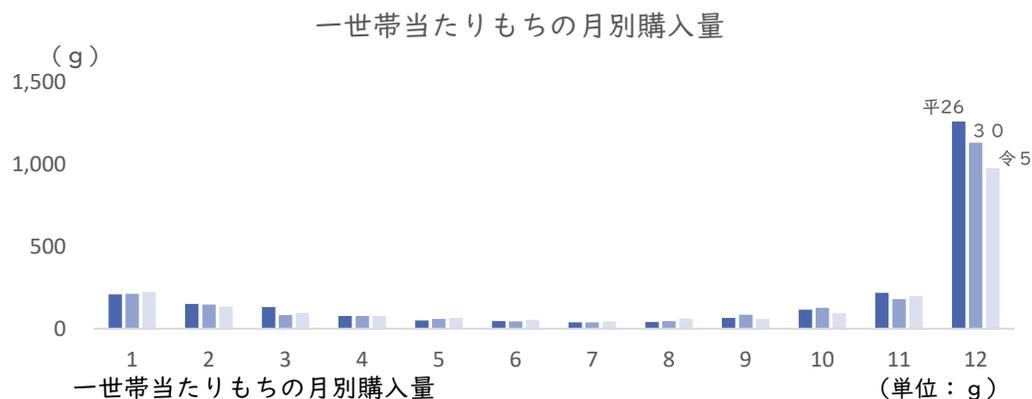


資料) 「全国農業協同組合連合会ホームページ」

15 もちの消費(月別、地域別購入量)

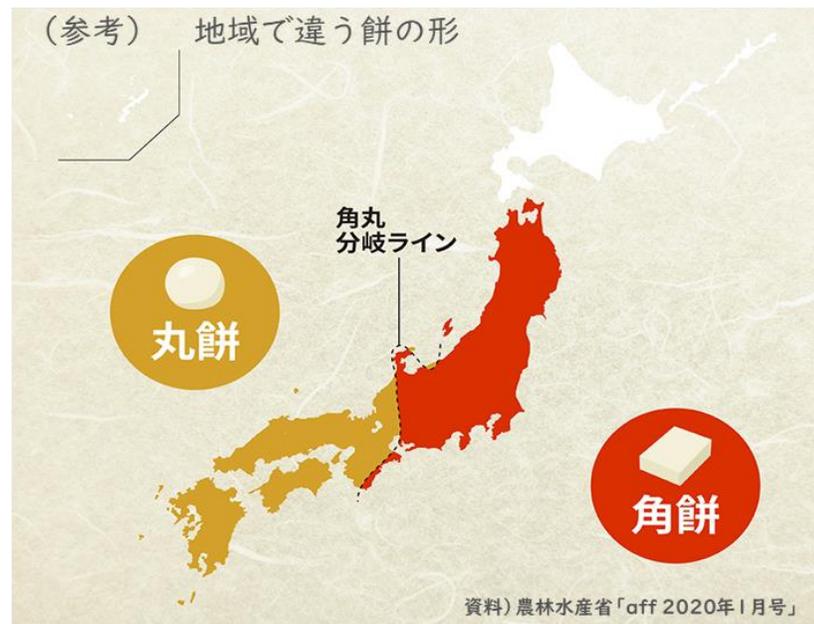
○もちの月別購入量は、お正月に備えた12月の購入が最大で、購入の少ない夏期の20倍以上と季節変動が大きい。

○地域別購入量は、金沢市、岐阜市、富山市などで多い一方、高知市、広島市、宮崎市などでは少ない。



年	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
平成 26	208	150	131	78	51	46	38	40	65	115	217	1,260
30	212	146	83	77	59	44	39	46	85	128	180	1,130
令和 5	224	133	96	78	66	53	45	62	59	95	199	977

資料) 総務省「家計調査(二人以上の世帯)」



地域別一世帯当たりのもち購入量

(単位：g)

1 金沢市	3,145	11 山形市	2,530	21 奈良市	2,210	30 甲府市	1,940	40 岡山市	1,793	50 宮崎市	1,464
2 岐阜市	3,021	12 長野市	2,465	22 宇都宮市	2,206	31 松山市	1,940	41 佐賀市	1,717	51 広島市	1,445
3 富山市	2,967	13 横浜市	2,431	23 和歌山市	2,202	32 北九州市	1,920	42 徳島市	1,667	52 高知市	1,120
4 福井市	2,849	14 札幌市	2,379	24 仙台市	2,165	33 浜松市	1,903	43 長崎市	1,655		
5 相模原市	2,796	15 さいたま市	2,314	○ 全国平均	2,162	34 松江市	1,893	44 大分市	1,611		
6 名古屋市	2,734	16 東京都区部	2,309	25 京都市	2,148	35 盛岡市	1,889	45 山口市	1,594		
7 新潟市	2,692	17 静岡市	2,267	26 鳥取市	2,091	36 高松市	1,858	46 熊本市	1,578		
8 千葉市	2,641	18 川崎市	2,252	27 水戸市	2,076	37 福島市	1,818	47 青森市	1,574		
9 堺市	2,578	19 前橋市	2,237	28 鹿児島市	2,050	38 神戸市	1,809	48 那覇市	1,483		
10 津市	2,566	20 大阪市	2,214	29 福岡市	1,987	39 大津市	1,794	49 秋田市	1,472		

資料) 「家計調査(二人以上の世帯) 品目別都道府県庁所在市及び政令指定都市ランキング (2021年(令和3年)~2023年(令和5年)平均)」

16 せんべいの支出金額

- 一世帯当たりのせんべい(あられを含む。)の年間支出金額は約5千~6千円で、菓子類支出額の6~7%。
- 世帯主の年齢階層ごとのせんべいの支出金額は、69歳以下世帯までは年齢が上がると支出金額も多い。

せんべいの支出金額

(単位：円)

	菓子類計①	せんべい②	②/①
平成26	80,127	5,680	7.1%
27	83,027	5,759	6.9%
28	83,472	5,825	7.0%
29	83,087	5,805	7.0%
30	83,916	5,757	6.9%
令和元	87,469	5,869	6.7%
2	85,534	5,682	6.6%
3	88,195	5,719	6.5%
4	94,373	5,948	6.3%
5	99,520	6,531	6.6%

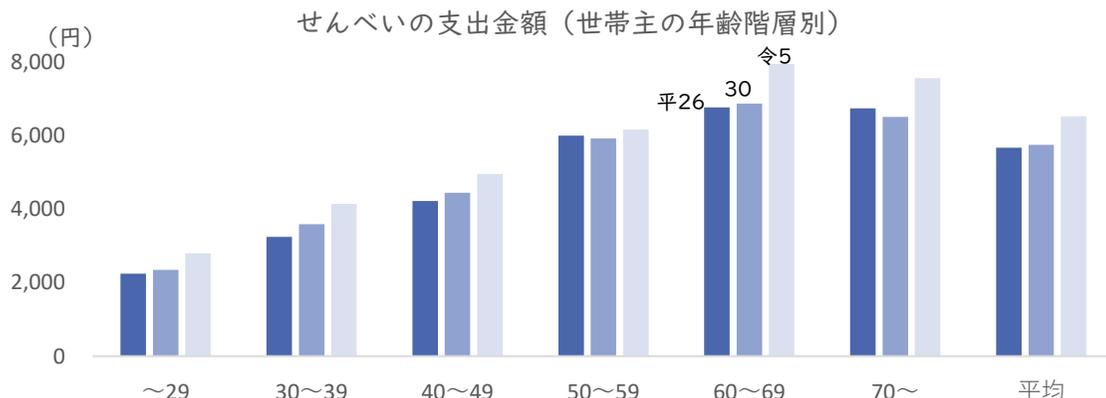
資料) 総務省「家計調査(二人以上世帯)」

注) 家計調査の「せんべい」には、米粉又は小麦粉を主原料として焼く又は揚げたものや砂糖、卵、水あめなどを加えたものも含まれ、かきもち、あられ、かわらせんべいなどが含まれている。

(参考) いろいろなあられ



資料) 「全国米菓工業組合ホームページ」



せんべいの支出金額(世帯主の年齢階層別) (単位：円)

	~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~	平均
平成26	2,243	3,245	4,224	6,008	6,775	6,745	5,680
30	2,348	3,597	4,451	5,925	6,875	6,513	5,757
令和5	2,798	4,145	4,961	6,167	7,954	7,565	6,531

資料) 総務省「家計調査(二人以上世帯)」

地域別一世帯当たりのせんべいの支出金額

(単位：円)

1 水戸市 8,249	11 横浜市 6,840	21 さいたま市 6,543	30 神戸市 5,660	40 大分市 4,708	50 高知市 3,877
2 山形市 7,907	12 京都市 6,817	22 堺市 6,441	31 山口市 5,642	41 宮崎市 4,601	51 熊本市 3,846
3 宇都宮市 7,881	13 名古屋市 6,759	23 大津市 6,405	32 浜松市 5,438	42 松山市 4,597	52 那覇市 2,765
4 富山市 7,771	14 岐阜市 6,740	24 仙台市 6,359	33 鳥取市 5,411	43 和歌山市 4,350	
5 福井市 7,634	15 東京都区部 6,728	25 相模原市 6,238	34 北九州市 5,155	44 徳島市 4,285	
6 奈良市 7,437	16 川崎市 6,660	26 静岡市 6,108	35 秋田市 5,130	45 広島市 4,210	
7 津市 7,324	17 前橋市 6,653	27 青森市 6,073	36 松江市 5,060	46 福岡市 4,098	
8 千葉市 7,150	18 新潟市 6,634	28 全国平均 6,066	37 甲府市 4,998	47 鹿児島市 4,068	
9 福島市 7,062	19 金沢市 6,618	28 大阪市 6,053	38 岡山市 4,901	48 佐賀市 4,056	
10 盛岡市 7,037	20 長野市 6,598	29 高松市 6,028	39 札幌市 4,890	49 長崎市 4,033	

資料) 「家計調査(二人以上の世帯)品目別都道府県庁所在市及び政令指定都市ランキング(2021年(令和3年)~2023年(令和5年)平均)」

17 令和5年産もち米概算金(生産者価格)

○ JA等の集荷業者が生産者の出荷の際に支払う米の概算金は、全農県本部等からJAに提示された概算金を基本としてJA単位で決定されている。

業界紙によれば、全農県本部等からJAに提示された令和5年産主食用もち米の概算金は、生産資材・物流費の上昇等により多くの産地で前年産に比べ100円～1,500円/60kg上昇。

全農県本部等からJAに提示された主食用もち米の概算金 (単位: 円/60kg、1等、包装消費税込み)

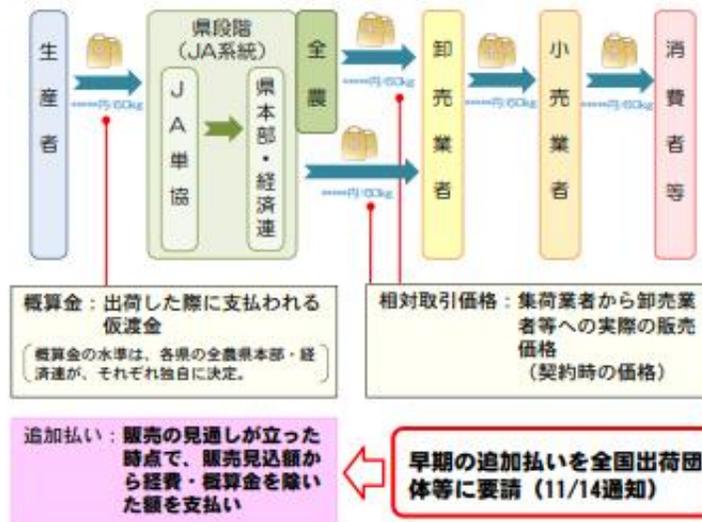
産地	品種銘柄	2年産 ①	3年産 ②	4年産 ③	対前年比 (③-②)	5年産 ④	対前年比 (④-③)
北海道	水稻もち米	12,000	12,000	12,000	0	12,500	500
岩手	こがねもち(A地区)	12,800	12,000	12,500	500	13,000	500
	ヒメノモチ	12,300	11,500	12,000	500	12,500	500
	もち美人	11,800	11,000	11,500	500	12,000	500
宮城	みやこがねもち	13,500	13,000	13,500	500	14,000	500
秋田	水稻もち米	8,000	8,000	8,000	0	8,000	0
山形	ヒメノモチ	13,500	10,500	10,500	0	11,000	500
福島	こがねもち	11,500	9,500	10,500	1,000	11,500	1,000
	ヒメノモチ	11,500	9,500	10,500	1,000	11,500	1,000
茨城	水稻もち米	10,500	9,000	9,000	0	10,500	1,500
新潟	こがねもち(契約栽培)	16,400	16,400	16,400	0	16,600	200
	こがねもち(契約外)	15,900	12,000	9,000	▲3,000	10,500	1,500
	わたぼうし(契約栽培)	14,400	14,400	14,400	0	14,600	200
	わたぼうし(契約外)	13,900	11,000	8,400	▲2,600	9,900	1,500
富山	新大正糯	14,000	13,500	13,500	0	14,200	700
	その他の水稻もち米	13,200	12,700	12,700	0	13,400	700
石川	水稻もち米	12,000	11,000	11,800	800	12,800	1,000
岐阜	たかやまもち(A地区)	15,100	15,100	15,200	100	15,300	100
佐賀	ヒヨクモチ	13,200	12,000	12,200	200	13,000	800

資料) 業界紙等をもとに、全農県本部等からJAに提示された概算金を整理したものである。

米の概算金と追加払いについて

米の概算金決定から追加払いまでの流れ

- 米の概算金は、JA等の集荷業者が生産者の出荷の際に支払う仮渡金であり、県単位で全農県本部・経済連が決定しています。
(地域によってはJA等が買取りしている場合や独自に決定している場合もあります)
- 全農県本部・経済連は販売の見通しが立った時点で、販売見込額から経費・概算金を除いた額を生産者に追加払いしています。
(追加払いの方法は地域によって異なる場合があります)



18 もち米の契約栽培基準価格等

○ 主食用もち米の契約栽培基準価格は、全国集出荷団体から収穫年の6月頃、もち米の需給状況等を踏まえて提示されている。令和2年産以降おおむね安定していたが、令和5年産は、各産地とも前年産に比べ約300円/60kg上昇。
 また、契約栽培(販売)に係る実際の販売価格は、出来秋時の作柄や需給状況を勘案し、契約栽培基準価格±5%の範囲内で最終調整(年間固定価格)。

○ もち米の集荷が確実な数量から契約栽培数量を差し引いた残数量をもとに契約された年間契約に係る販売価格は、契約栽培基準価格や産地銘柄ごとの契約状況等を踏まえて決定される。このほか、スポット取引に係る販売価格については、需要者との協議により個別に設定。

契約栽培基準価格

(単位：円/60kg、1等、裸、基準着地持込、税別)

産地	銘柄	基準着地	平成29年産	30	令和元	2	3	4	5
北海道	はくちようもち・風の子もち・きたゆきもち・きたふくもち	東京	14,146	→ 14,146	→ 14,146	↗ 14,646	→ 14,646	→ 14,646	↗ 15,146
岩手	こがねもち(A地区)	東京	16,020	→ 16,020	→ 16,020	↗ 16,320	→ 16,320	→ 16,320	↗ 16,620
	ヒメノモチ・もち美人	東京	14,840	→ 14,840	→ 14,840	↗ 15,140	→ 15,140	→ 15,140	↗ 15,440
宮城	みやこがねもち(一般地区)	東京	16,433	→ 16,433	→ 16,433	↗ 16,900	→ 16,900	→ 16,900	↗ 17,400
	みやこがねもち(特A地区)	東京	16,733	→ 16,733	→ 16,733	↗ 17,200	→ 17,200	→ 17,200	↗ 17,700
秋田	たつこもち・きぬのはだ	東京	14,840	→ 14,840	→ 14,840	↗ 15,140	→ 15,140	→ 15,140	↗ 15,440
山形	ヒメノモチ	東京	13,940	↗ 14,340	→ 14,340	↗ 14,640	→ 14,640	→ 14,640	↗ 14,940
新潟	こがねもち	東京	17,640	→ 17,640	→ 17,640	↗ 17,940	→ 17,940	→ 17,940	↗ 18,210
	わたぼうし	東京	15,340	↗ 15,840	→ 15,840	↗ 16,140	→ 16,140	→ 16,140	↗ 16,410
岐阜	たかやまもち	大阪	15,640	→ 15,640	→ 15,640	↗ 15,740	→ 15,740	→ 15,740	↗ 16,040
静岡	峰の雪もち	産地在交	14,146	→ 14,146	→ 14,146	↗ 14,346	→ 14,346	→ 14,346	↗ 14,650
福岡	ヒヨクモチ	大阪	15,086	→ 15,086	→ 15,086	↗ 15,206	→ 15,206	→ 15,206	↗ 15,450
佐賀	ヒヨクモチ	大阪	15,146	→ 15,146	↗ 15,246	↗ 15,346	→ 15,346	→ 15,346	↗ 15,650
熊本	ヒヨクモチ	大阪	14,646	→ 14,646	→ 14,646	↗ 14,846	→ 14,846	→ 14,846	↗ 15,010
	峰の雪もち	大阪	14,246	→ 14,246	→ 14,246	→ 14,246	→ 14,246	→ 14,246	-

資料) 全国集出荷団体資料

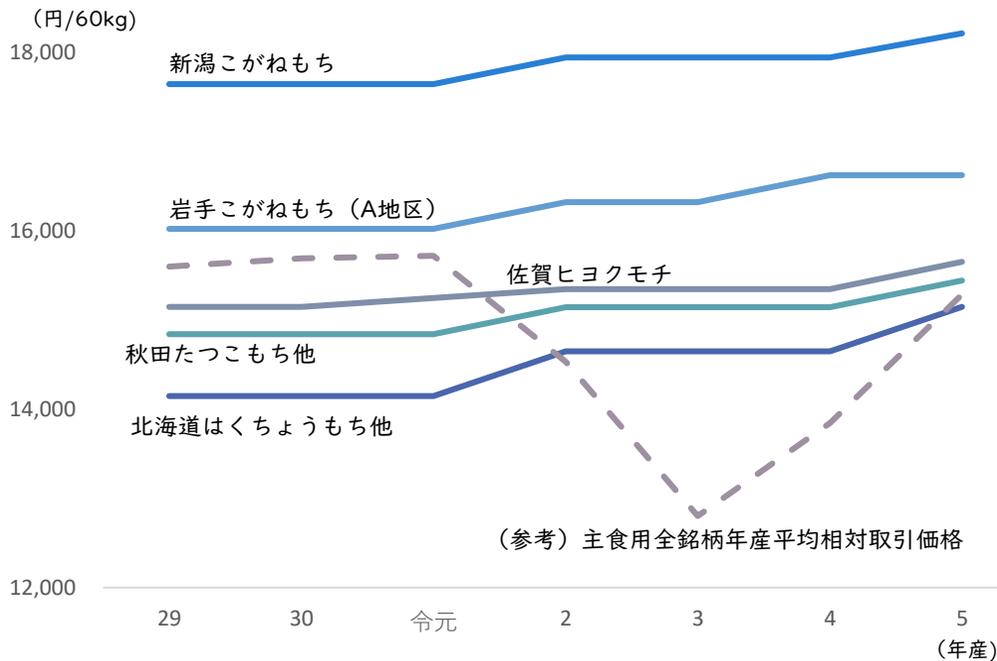
年間契約販売価格

(単位：円/60kg、1等、裸、基準着地持込、税別)

産地	銘柄	基準着地	平成29年産	30	令和元	2	3	4	5
北海道	はくちようもち・風の子もち・きたゆきもち・きたふくもち	東京	14,146	-	14,346	↗ 14,846	-	-	-
岩手	こがねもち(A地区)	東京	16,020	→ 16,020	-	-	-	-	-
	ヒメノモチ・もち美人	東京	14,840	→ 14,840	→ 14,840	-	-	-	-
宮城	みやこがねもち(一般地区)	東京	-	16,433	-	-	-	-	-
	みやこがねもち(特A地区)	東京	-	16,733	-	-	-	-	-
新潟	こがねもち	東京	-	-	-	17,590	-	-	-
	わたぼうし	東京	-	-	-	14,540	-	-	-
岐阜	たかやまもち	大阪	-	15,640	15,640	-	-	-	-
佐賀	ヒヨクモチ	大阪	15,140	-	-	-	-	-	-
熊本	ヒヨクモチ	大阪	14,646	-	-	-	-	-	-
	峰の雪もち	大阪	14,246	-	-	-	-	-	-

資料) 全国集出荷団体資料

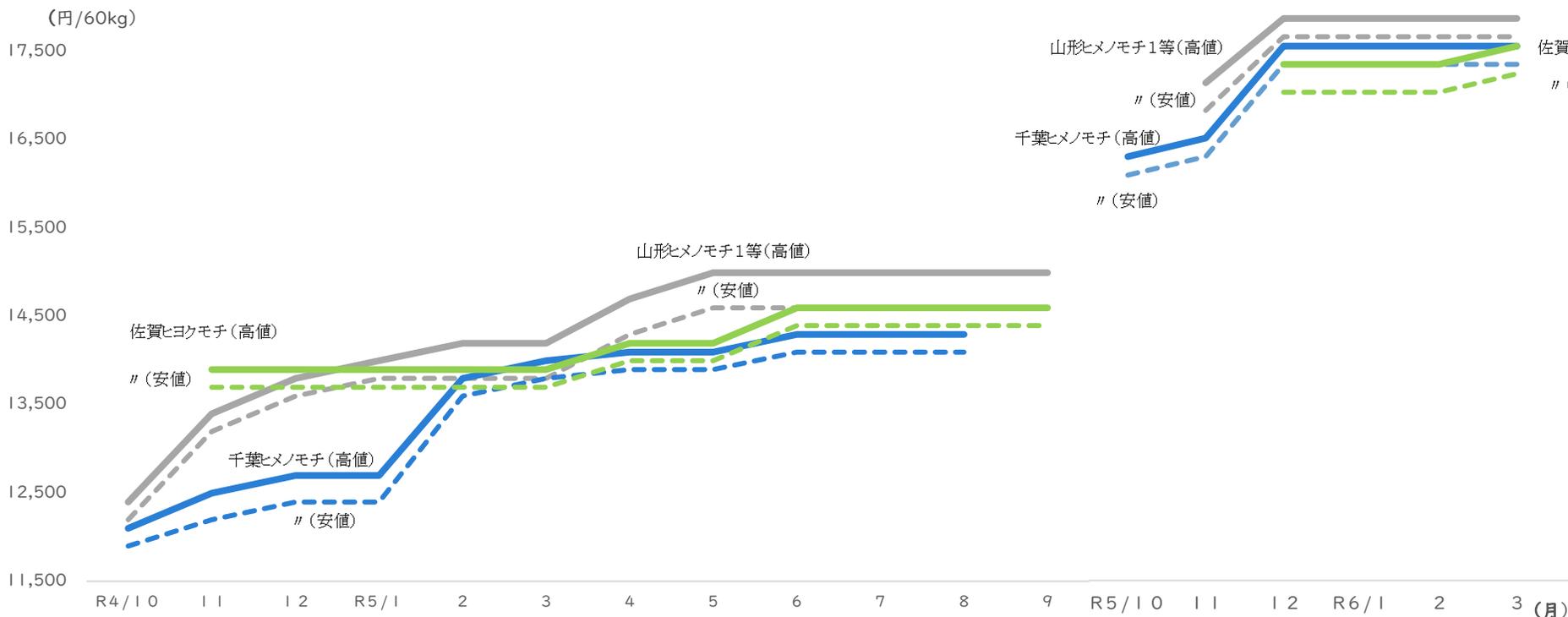
もち米契約栽培基準価格



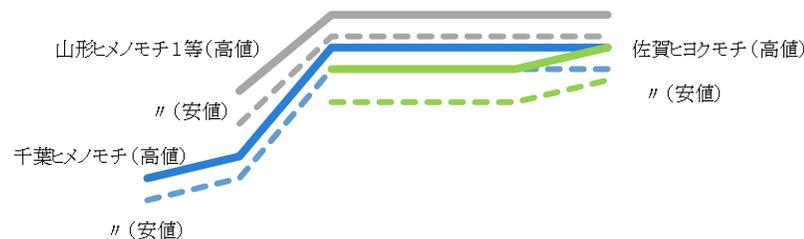
19 もち米の市場取引価格

○ 業界紙によるもち米の市場取引価格は、生産資材・物流経費の上昇等の影響で、令和4年産で約1,000円～2,000円/60kg上昇し、令和5年産も引き続き上昇傾向。

令和4年産もち米市場価格



令和5年産もち米市場価格



令和4年産等もち米取引価格

(単位：円/60kg)

令和5年産もち米市場取引価格

(単位：円/60kg)

	R4/10	11	12	R5/1	2	3	4	5	6	7	8	9		R5/10	11	12	R6/1	2	3
山形ヒメノモチ1等 高値	12,400	13,400	13,800	14,000	14,200	14,200	14,700	15,000	15,000	15,000	15,000	15,000	山形ヒメノモチ1等 高値		16,900	17,600	17,600	17,600	17,600
山形ヒメノモチ1等 安値	12,200	13,200	13,600	13,800	13,800	13,800	14,300	14,600	14,600	14,600	14,600	14,600	山形ヒメノモチ1等 安値		16,600	17,400	17,400	17,400	17,400
千葉ヒメノモチ1等 高値	12,100	12,500	12,700	12,700	13,800	14,000	14,100	14,100	14,300	14,300	14,300		千葉ヒメノモチ1等 高値	16,100	16,300	17,300	17,300	17,300	17,300
千葉ヒメノモチ1等 安値	11,900	12,200	12,400	12,400	13,600	13,800	13,900	13,900	14,100	14,100	14,100		千葉ヒメノモチ1等 安値	15,900	16,100	17,100	17,100	17,100	17,100
佐賀ヒヨクモチ2等 高値		13,900	13,900	13,900	13,900	13,900	14,200	14,200	14,600	14,600	14,600	14,600	佐賀ヒヨクモチ2等 高値			17,100	17,100	17,100	17,300
佐賀ヒヨクモチ2等 安値		13,700	13,700	13,700	13,700	13,700	14,000	14,000	14,400	14,400	14,400	14,400	佐賀ヒヨクモチ2等 安値			16,800	16,800	16,800	17,000

資料) 米穀業界紙の各月中旬の記事をもとに取りまとめたものである (関東着・トラック配送・消費税抜き)。

20 もちの小売価格

○ もち小売価格は、年別、地域別にバラツキがあるものの、600円～800/1kg袋とほぼ横ばいで推移。
また、令和5年12月のもち小売価格を前年同月と比べると、原料のもち米や物流費上昇等の影響で多くの地域で上昇。

もち小売価格

(単位：円/1kg袋)

区 分	平成26年		平成27年		平成28年		平成29年		平成30年		平成元年		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		
			対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比		対前年比	12月	12月	対前年比	
北海道	札幌市	701	697	▲4	713	16	709	▲4	688	▲21	679	▲9	694	15	709	15	697	▲12	689	743	54
青森	青森市	793	747	▲46	728	▲19	743	15	767	24	758	▲9	767	9	742	▲25	700	▲42	646	695	49
岩手	盛岡市	641	687	46	685	▲2	684	▲1	679	▲5	672	▲7	656	▲16	647	▲9	650	3	618	672	54
宮城	仙台市	670	603	▲67	657	54	591	▲66	591	0	589	▲2	591	2	591	0	591	0	591	695	104
秋田	秋田市	743	778	35	757	▲21	762	5	746	▲16	763	17	736	▲27	728	▲8	707	▲21	646	722	76
山形	山形市	604	603	▲1	648	45	688	40	681	▲7	634	▲47	614	▲20	614	0	599	▲15	537	672	135
福島	福島市	743	743	0	748	5	679	▲69	682	3	677	▲5	681	4	679	▲2	669	▲10	645	753	108
茨城	水戸市	790	907	117	915	8	804	▲111	793	▲11	743	▲50	654	▲89	690	36	701	11	672	672	0
栃木	宇都宮市	750	768	18	794	26	748	▲46	783	35	770	▲13	740	▲30	735	▲5	727	▲8	645	721	76
群馬	前橋市	766	796	30	790	▲6	787	▲3	740	▲47	754	14	732	▲22	702	▲30	684	▲18	645	726	81
埼玉	さいたま市	764	762	▲2	776	14	767	▲9	688	▲79	716	28	726	10	724	▲2	704	▲20	619	678	59
千葉	千葉市	738	773	35	775	2	772	▲3	765	▲7	770	5	773	3	766	▲7	744	▲22	744	732	▲12
東京	東京都区部	730	713	▲17	707	▲6	707	0	717	10	734	17	743	9	739	▲4	743	4	707	752	45
神奈川	横浜市	611	605	▲6	619	14	687	68	656	▲31	589	▲67	586	▲3	594	8	566	▲28	581	645	64
山梨	甲府市	679	684	5	677	▲7	677	0	692	15	684	▲8	603	▲81	601	▲2	603	2	603	649	46
長野	長野市	770	657	▲113	627	▲30	678	51	772	94	804	32	809	5	809	0	804	▲5	809	803	▲6
新潟	新潟市	767	761	▲6	778	17	696	▲82	722	26	696	▲26	696	0	697	1	699	2	646	706	60
富山	富山市	714	666	▲48	664	▲2	646	▲18	637	▲9	642	5	641	▲1	641	0	641	0	646	700	54
石川	金沢市	729	713	▲16	732	19	677	▲55	675	▲2	663	▲12	655	▲8	678	23	673	▲5	646	646	0
福井	福井市	689	641	▲48	645	4	641	▲4	646	5	642	▲4	639	▲3	632	▲7	637	5	646	646	0
岐阜	岐阜市	646	618	▲28	618	0	609	▲9	612	3	616	4	614	▲2	612	▲2	643	31	646	673	27
静岡	静岡市	720	742	22	749	7	733	▲16	729	▲4	723	▲6	708	▲15	698	▲10	706	8	646	732	86
愛知	名古屋市中区	728	677	▲51	693	16	703	10	717	13	693	▲24	700	7	696	▲4	700	733	733	33	
三重	津市	786	772	▲14	762	▲10	767	5	752	▲15	765	13	670	▲95	670	0	697	27	753	753	0
滋賀	大津市	712	757	45	772	15	761	▲11	746	▲15	757	11	737	▲20	717	▲20	735	18	672	753	81
京都	京都市	738	695	▲43	684	▲11	663	▲21	673	10	650	▲23	637	▲13	663	26	649	▲14	591	716	125
大阪	大阪市	688	637	▲51	620	▲17	629	9	632	3	644	12	631	▲13	627	▲4	648	21	603	621	18
兵庫	神戸市	744	603	▲141	606	3	661	55	678	17	675	▲3	678	3	667	▲11	670	3	645	737	92
奈良	奈良市	734	714	▲20	718	4	694	▲24	653	▲41	649	▲4	632	▲17	617	▲15	612	▲5	623	607	▲16
和歌山	和歌山市	840	839	▲1	773	▲66	645	▲128	645	0	646	1	646	0	646	0	635	▲11	625	646	21
鳥取	鳥取市	649	678	29	678	0	674	▲4	673	▲1	654	▲19	647	▲7	656	9	661	5	591	651	60
島根	松江市	689	763	74	848	85	842	▲6	862	20	806	▲56	814	8	843	29	792	▲51	754	710	▲44
岡山	岡山市	768	773	5	781	8	825	44	796	▲29	753	▲43	717	▲36	717	0	698	▲19	645	645	0
広島	広島市	732	694	▲38	746	52	675	▲71	686	11	709	23	688	▲21	686	▲2	690	4	645	742	97
山口	山口市	707	700	▲7	700	0	704	4	693	▲11	680	▲13	677	▲3	674	▲3	674	0	645	861	216
徳島	徳島市	807	802	▲5	790	▲12	788	▲2	729	▲59	716	▲13	726	10	717	▲9	735	18	776	797	21
香川	高松市	764	799	35	825	26	830	5	825	▲5	812	▲13	814	2	776	▲38	730	▲46	700	738	38
愛媛	松山市	756	736	▲20	735	▲1	738	3	705	▲33	708	3	723	15	723	0	695	▲28	592	727	135
高知	高知市	680	687	7	596	▲91	591	▲5	587	▲4	584	▲3	584	0	582	▲2	582	0	564	651	87
福岡	福岡市	782	749	▲33	749	0	749	0	749	0	738	▲11	708	▲30	663	▲45	681	18	727	673	▲54
佐賀	佐賀市	697	697	0	693	▲4	676	▲17	723	47	717	▲6	724	7	726	2	723	▲3	711	765	54
長崎	長崎市	702	809	107	719	▲90	752	33	797	45	701	▲96	664	▲37	696	32	704	8	619	673	54
熊本	熊本市	784	769	▲15	848	79	817	▲31	831	14	784	▲47	744	▲40	733	▲11	678	▲55	645	754	109
大分	大分市	598	591	▲7	591	0	591	0	625	34	682	57	591	▲91	605	14	610	5	667	591	▲76
宮崎	宮崎市	753	768	15	799	31	712	▲87	756	44	716	▲40	668	▲48	654	▲14	681	27	689	786	97
鹿児島	鹿児島市	753	833	80	831	▲2	800	▲31	698	▲102	709	11	726	17	726	0	754	28	764	591	▲173
沖縄	那覇市	384	396	12	373	▲23	368	▲5	368	0	700	332	626	-	651	25	651	0	655	655	0
参)	全国平均価格	725	722	▲3	725	3	712	▲13	710	▲8	702	▲8	687	▲15	684	▲2	680	▲4	657	702	45

資料) 総務省「小売物価統計調査(動向編)」

注1) 都道府県庁所在地に所在する包装もち(1kg袋入り、普通品)の年平均小売価格である。

注2) 那覇市の価格は、平成30年調査まで400g袋のものであるため、平成30年の平均算出から除いている。

21 もち米の輸入・販売

- 近年のSBSもち米の輸入・販売はアメリカ(短粒種)等で約3千トン、MA一般輸入もち米はタイ(長粒種)で約7千トン。
- SBSもち米等の売渡価格は、コメの国際市場動向、為替動向等により変動。

SBSもち米の輸入販売の見積合せ結果

(単位: トン、円/トン)

年度	平成25	26	27	28	29	30	令和元	2	3	4	5
売渡数量計	5,236	3,466	5,704	4,939	4,426	4,622	3,922	2,212	3,014	1,916	2,748
米国もち精米短粒種	4,396	2,418	3,458	3,600	2,976	2,392	2,596	1,732	2,492	1,116	1,960
米国もち砕精米	388	724	1,260	700	1,000	940	600	300	300	300	500
豪州もち精米短粒種	-	-	-	143	-	-	-	-	-	-	-
タイもち精米長粒種	144	72	72	108	90	90	126	180	222	184	162
タイもち砕精米	308	252	914	388	360	1,200	600	-	-	316	126
アルゼンチンもち精米短粒種	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	72
(参考) 売渡価格(税込)											
米国もち精米短粒種	238,807	223,645	232,377	224,062	245,427	223,571	212,806	221,400	278,640	406,512	285,644
米国もち砕精米	138,600	174,960	176,040	168,480	181,313	168,508	172,602	165,421	186,866	245,840	211,995
豪州もち精米短粒種	-	-	-	193,762	-	-	-	-	-	-	-
タイもち精米長粒種	189,000	191,160	210,600	209,520	242,460	209,628	244,620	217,620	227,737	229,500	235,000
タイもち砕精米	137,550	145,476	156,276	140,940	145,413	145,980	187,380	-	-	167,400	186,946
アルゼンチンもち精米短粒種	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	371,736

資料) 農林水産省: 輸入米に係るSBSの結果概要。なお、売渡価格は、各年度の最初の成約時の成約数量に応じた加重平均価格である。
注) 令和5年度は、第8回(令和6年3月1日)迄の見積合せ結果

加工原材料用MA一般輸入タイもち精米定例販売

(単位: トン、トン/円)

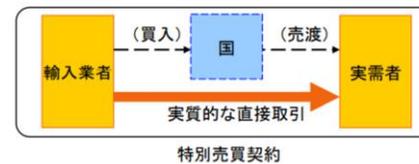
年度	販売期間	成約数量	加重平均価格	年度	販売期間	成約数量	加重平均価格	年度	販売期間	成約数量	加重平均価格
平成25	4~7月期	2,685	105,140	平成30	4~7月期	2,745	101,209	令和5	4~7月期	2,117	129,410
	8~11月期	3,092	119,752		8~11月期	2,951	113,581		8~11月期	2,673	129,306
	12~3月期	3,294	133,758		12~3月期	2,796	113,594		12~3月期	-	-
	年度合計	9,071	-		年度合計	8,492	-		年度合計	4,790	-
26	4~7月期	2,839	126,594	令和元	4~7月期	2,870	111,915	令和2	4~7月期	1,934	160,315
	8~11月期	3,404	121,089		8~11月期	3,153	124,117		8~11月期	3,132	170,129
	12~3月期	2,782	120,206		12~3月期	2,259	129,744		12~3月期	2,143	139,455
	年度合計	9,025	-		年度合計	8,282	-		年度合計	7,209	-
27	4~7月期	2,882	117,483	2	4~7月期	1,934	160,315	3	4~7月期	2,291	124,893
	8~11月期	2,968	120,978		8~11月期	3,132	170,129		8~11月期	2,114	118,698
	12~3月期	2,929	131,052		12~3月期	2,143	139,455		12~3月期	2,320	110,733
	年度合計	8,779	-		年度合計	7,209	-		年度合計	6,725	-
28	4~7月期	2,910	128,890	3	4~7月期	2,291	124,893	4	4~7月期	2,223	100,257
	8~11月期	3,221	125,005		8~11月期	2,114	118,698		8~11月期	2,435	116,620
	12~3月期	3,158	120,688		12~3月期	2,320	110,733		12~3月期	1,960	123,588
	年度合計	9,289	-		年度合計	6,725	-		年度合計	6,618	-
29	4~7月期	3,071	110,910	4	4~7月期	2,223	100,257	令和元	4~7月期	2,223	100,257
	8~11月期	2,704	112,157		8~11月期	2,435	116,620		8~11月期	2,435	116,620
	12~3月期	2,904	105,684		12~3月期	1,960	123,588		12~3月期	1,960	123,588
	年度合計	8,679	-		年度合計	6,618	-		年度合計	6,618	-

資料) 農林水産省: 加工原材料用米穀の定例販売結果

(参考) 米の輸入制度

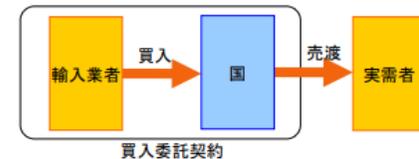
- ガット・ウルグアイ・ラウンド合意(WTO協定)に基づき、それまで輸入がほとんど行われていなかったコメについても、最低限の輸入機会を提供することとし(ミニマム・アクセス米(MA米))、1995年度以降、ミニマム・アクセス数量(現在は77万玄米トン)について、無税の輸入枠(関税割当)を設定。
- MA米については、国産米に極力影響を与えないようにするため、国が一元的に輸入して販売(国家貿易)。
- TPP11協定においては、国家貿易制度を維持し、豪州 向け国別枠(関税割当)を設定。
- MA米及びTPP11豪州枠以外の輸入には、高水準の枠外税率を設定。

【SBS(Simultaneous Buy and Sell: 売買同時契約)輸入】(MA米のうち最大10万トン、TPP11豪州枠)



- ① 輸入業者と国内の実需者がベアで国の入札に参加。
 - ② 国の売渡価格と買入価格の差(マークアップ)が大きいものから落札。
 - ③ 国と輸入業者・実需者(落札ベア)の3者間で特別売買契約を締結。
 - ④ 国が輸入業者からの買入れと実需者への売渡しを同時に実施。
- ⇒ 主に主食用に販売。

【一般輸入】(MA米のうち、77万玄米トン-SBS輸入数量)



- ① 輸入業者が国の入札に参加。
 - ② 国と輸入業者(落札業者)が買入委託契約を締結。
 - ③ 国が輸入業者から買入れ。
 - ④ その後、国が別の入札によって国内の実需者に売り渡し。
- ⇒ 価格の面で国産米では十分対応し難い加工用、飼料用等の非主食用に販売。

資料) 農林水産省「米をめぐる参考資料」

22 米菓、米粉調製品の輸入

- 令和3年まで米菓は、中国、タイ、台湾等から約8千トン輸入されていたが、令和4年以降、約5千トンに減少。
- 米粉調製品の輸入量は、平成26年以降減少傾向で、令和5年はタイ、アメリカ、中国等から約4万トン。

米菓の輸入量

(単位：トン)

国	年	令和元	2	3	4	5
中国		6,188	6,414	6,452	3,679	3,746
タイ		1,225	1,137	1,017	994	998
台湾		493	497	478	502	533
ベトナム		3	1	17	63	4
その他			1	1	4	8
合計		7,909	8,050	7,965	5,242	5,289

資料) 財務省：「貿易統計」

(参考)

米粉調製品は、米粉に砂糖やでん粉を混入したもので、米菓、穀粉、包装もち等の原料として使用される。

米粉の含有量が85%以下のものは、昭和37年から輸入が自由化されており、関税率は16.0%（無糖）、23.8%（加糖）となっている。

なお、米粉の含有率が85%を超えるものは、米と同様の税率（341円/kg）となっている。

うち、もち別	加糖、無糖別	用途	使用理由
もち米粉	加糖	大福等	製品により砂糖を分離して国内で製造された米粉とブレンドして使用、分離せずに使用の両方
	無糖	切り餅	早く硬くなるので作業時間が短縮
うち米粉	加糖	団子、柏餅	製品により砂糖を分離して国内で製造された米粉とブレンドして使用、分離せずに使用の両方
	無糖	米菓	澱粉混入品はふっくらと焼き上がるソフトに仕上がる

資料) 農林水産省「米粉調製品の輸入実態とその影響（平成13年3月26日）」

米粉調製品の輸入量

(単位：トン)

国	年	平成26	27	28	29	30	令和元	2	3	4	5
タイ		38,070	33,540	34,784	32,531	31,987	32,257	27,581	29,144	30,172	26,066
アメリカ		19,160	11,744	13,881	15,142	15,058	13,796	14,852	13,516	11,773	7,188
中国		29,232	17,028	9,759	11,917	24,112	27,192	28,725	22,099	5,451	5,283
韓国		25	93	49	52	30	48	138	180	69	60
オーストラリア		151				0	0	510	374	391	595
ベトナム		27	17	18	13	16	14	5	12	5	13
その他		19	48	1	24	0	2	0	1	3	2
合計		86,684	62,470	58,492	59,679	71,203	73,309	71,811	65,327	47,865	39,207

資料) 財務省「貿易統計」

23 コメ・コメ加工品の輸出

○ 「農林水産物・食品の輸出額を、2025年までに2兆円、2030年までに5兆円とする」国の輸出促進政策の一環として、海外で評価される日本の強みを有し、輸出拡大余地が大きく、関係者が一体となった輸出促進活動が効果的な輸出重点品目（28品目）の一つとして、コメ、パックご飯、米粉及び米粉製品も選定。

○ 2023年のコメ・コメ加工品の輸出金額は対前年6%減の577億円、輸出数量は、対前年8%増の58.5千トン。

農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略 品目別輸出目標（11月30日とりまとめ）「コメ・パックご飯・米粉及び米粉製品」

1. 国別輸出額目標

国名	2019年実績	2025年目標	国別のニーズ・規制に対応するための課題・対策
合計	52億円	125億円	
香港	15億円	36億円	・大手米卸や輸出事業者が中食・外食を中心に需要を開拓しており、今後もレストランチェーンやおにぎり店等をメインターゲットとした需要開拓を図る
アメリカ	7億円	30億円	・大手米卸や輸出事業者が日系小売店需要を開拓。今後は日本食レストラン等やEC等の小売需要を開拓。またパックご飯や米粉の最大の輸出先国であり、更なる市場開拓を図る
中国	4億円	19億円	・大手米卸等がECやギフトボックス等の贈答用を中心に需要を伸ばしており、更なる開拓を図る ・コスト削減のためには指定精米工場等の活用に加えて工場等の追加や輸入規制の緩和が不可欠
シンガポール	8億円	16億円	・輸出事業者やJA系統等が中食・外食を中心に需要を開拓。更にレストランチェーンやおにぎり店等をメインターゲットとした需要開拓を図る
その他	18億円	22億円	・UAEや欧州等のコメを主食としない地域では、寿司等の日本食需要拡大に合わせて日本産米の需要開拓を図る ・EUを中心に拡大するグルテンフリー需要の取り込みを通じた米粉・米粉製品の需要開拓を図る

2. 輸出産地の育成・展開

- <輸出産地数>
 - ・30〜40産地（先進的なJA等をモデル産地として、千トン超の輸出用米の生産に取り組み産地を育成する）
- <今後育成すべき国内産地>
 - ・国際競争力を有するコメの生産と農家手取り収入の確保の両立を図ることで、大ロットで輸出用米を生産・供給する産地
- <生産基盤の強化やロットの拡大、産地間連携の実現に向けた方策>
 - ・輸出事業者と産地が連携して取り組み、多収米の導入や作期分散等の生産・流通コスト低減の取組の支援により、輸出用米の生産拡大（主食用米からの作付転換）を推進

3. 加工・流通施設の整備

- ・パックご飯メーカーや米粉・米粉製品メーカーが輸出に取り組んでいるが、輸出先国の規制等への対応が必要になるケースがあることから、当該規制等対応のための取組や輸出向け生産に必要な機械・設備の導入等を支援

4. 品目別団体を中心とした販路開拓

- ・現在、（一社）全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会（全米輸）が品目別のプロモーションを実施。プロモーションの財源には、国庫補助金のほか会費収入も一部活用。
- ・今後全米輸は、新興市場（輸出事業者の進出が不十分な国・地域あるいは分野。UAE・北欧や、アメリカのEC市場等を想定）でのプロモーション等を通じた市場開拓を予定。実施に際してはJETRO・JFOODOとも連携

コメ・コメ加工品の輸出実績の推移

（単位：トン、日本酒数量はkl、億円、%）

品目名		2019年	2020年	2021年	2022年	2023年		(参考) 主な輸出先国
						数量	対前年比	
コメ・コメ加工品	数量 (原料米換算)	35,531	36,569	45,959	53,931	58,473	+8	アメリカ 中国、香港 台湾、韓国
	金額	329	347	524	613	577	-6	
コメ（援助米を除く）	数量	17,381	19,781	22,833	28,928	37,186	+29	香港、アメリカ シンガポール 台湾、カナダ
	金額	46	53	59	74	94	+27	
米菓 (あられ・せんべい)	数量	4,033	4,222	5,141	4,523	4,565	+1	アメリカ、 台湾、香港 韓国、シンガポール
	原料米換算 金額	3,428	3,589	4,370	3,845	3,880	+1	
日本酒 (清酒)	数量	24,928	21,761	32,052	35,895	29,196	-19	中国 アメリカ、香港 韓国、台湾
	原料米換算 金額	14,041	12,257	18,054	20,218	16,445	-19	
パックご飯等	数量	1,018	1,205	1,129	1,384	1,593	+15	アメリカ、香港 台湾、韓国 シンガポール
	原料米換算 金額	535	634	594	727	837	+15	
米粉及び米粉 製品(米粉麺等)	数量	118	249	88	173	101	-41	アメリカ、タイ ドイツ、シンガポール 台湾
	原料米換算 金額	146	308	108	213	125	-41	
コメ・パックご 飯・米粉及び米 粉製品	数量 (原料米換算)	18,062	20,723	23,535	29,868	38,148	+28	香港、アメリカ シンガポール 台湾、オーストラリア
	金額	52	60	66	83	105	+26	

資料）農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

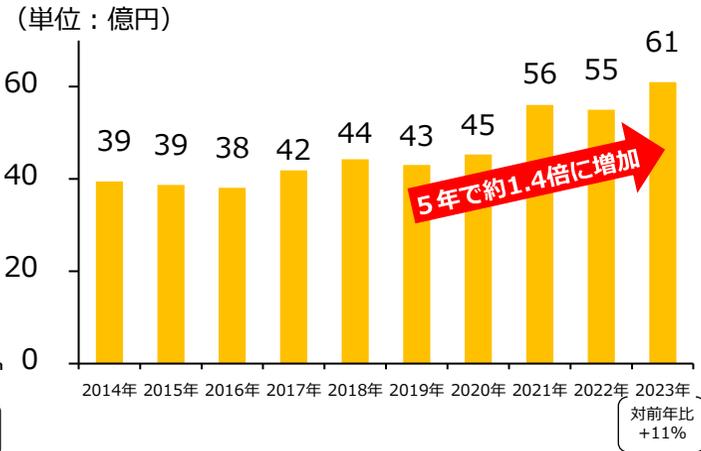
24 パックご飯・米菓等の輸出

- 2023年のパックご飯の輸出金額は対前年26%増の10億円、輸出数量は対前年15%増の1.6千トン。
- 米菓は、輸出金額は対前年11%増の61億円、輸出数量は前年並の4.5千トン。

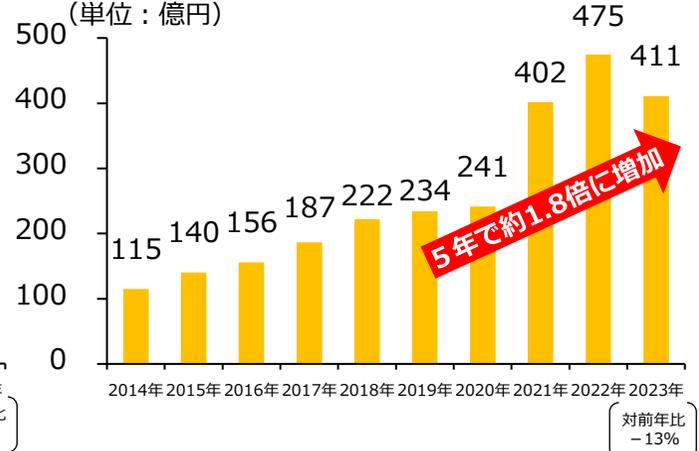
● パックご飯等の輸出実績
(単位：億円)



● 米菓の輸出実績
(単位：億円)



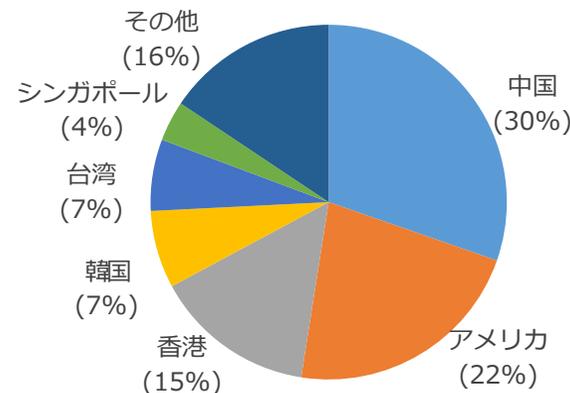
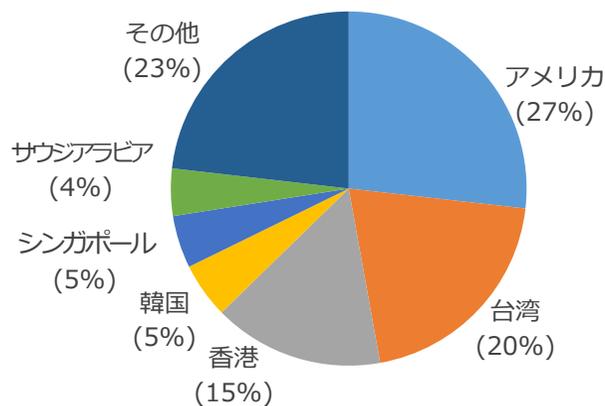
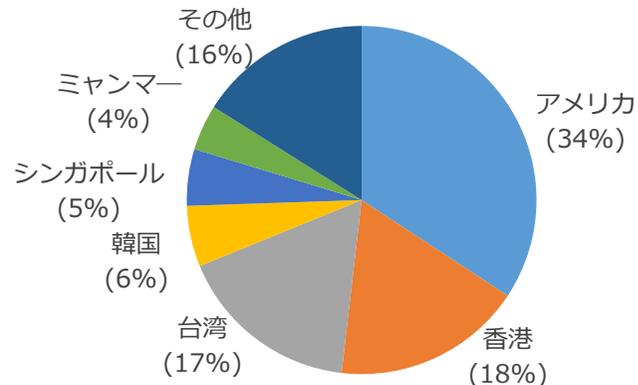
● 日本酒の輸出実績
(単位：億円)



■ パックご飯等の輸出先国・地域内訳 (金額ベース)(2023年)

■ 米菓の輸出先国・地域内訳 (金額ベース)(2023年)

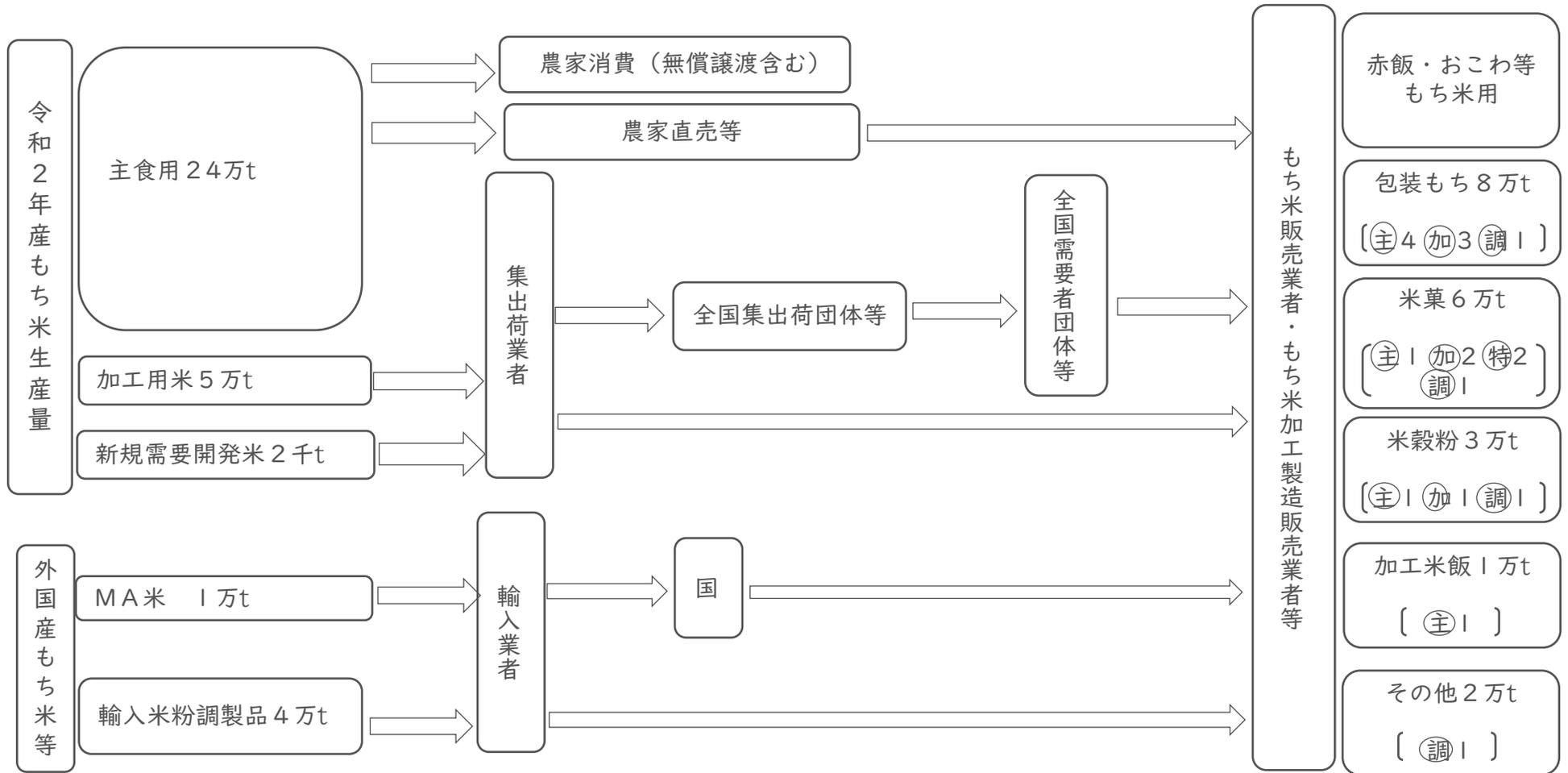
■ 日本酒の輸出先国・地域内訳 (金額ベース)(2023年)



資料) 農林水産省「米をめぐる状況について」

(参考) 令和3米穀年度 もち米等の生産・輸入・消費のイメージ

(玄米トン)



資料) 令和元年産もち米生産量は、農林水産省「米をめぐる参考資料、加工用米生産量及び新規需要米の生産量(除く飼料用米)」、
 外国産もち米等及び包装もち等の用途別・制度別使用量は、農林水産省「マンスリーレポート」
 注1) ③は主食用米、④は加工用米、⑤は特定米穀、⑥はMA、SBS米、⑦は輸入米粉調製品。
 2) 農家消費、農家直売、集出荷業者直売、赤飯、おこわ等もち米用使用量に関する公表値は無い。